

官報

號外

明治四十三年三月十二日

土曜日

印刷局

第二十六回 衆議院議事速記録第十九號

明治四十三年三月十一日(金曜日)午後一時五分開議

議事日程 第十八號 明治四十三年三月十一日

午後一時開議

- 第一 藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 漁業法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 北海道土功組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 那覇港修築工事ヲ沖繩縣ニ引繼ク事ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 土地收用法中改正法律案(安東敬之君提出) 第一讀會
- 第七 官吏恩給法中改正法律案(武藤金吉君提出) 第一讀會
- 第八 軍人恩給法中改正法律案(武藤金吉君提出) 第一讀會
- 第九 行政執行法中改正法律案(外田龍吉君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 水產講習所分場設置ニ關スル建議案(吉田虎之助君提出) 第一讀會
- 第十一 史談會國庫補助ニ關スル建議案(尾崎行雄君提出) 第一讀會
- 第十二 豫算編成方改正ニ關スル建議案(田川大吉君提出) 第一讀會
- 第十三 區裁判所事務開始ニ關スル建議案(稻村辰次郎君提出) 第一讀會
- 第十四 文官任用令中改正ニ關スル建議案(小川平吉君提出) 第一讀會
- 第十五 (特別報告第二十九號)町村基本金トシテ國有林野拂下ノ請願 (委員長報告)
- 第十六 (特別報告第二十號)稅務署設置ノ請願 (委員長報告)
- 第十七 (特別報告第二十一號)宮津貿易港並宮津福知山間鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
- 第十八 (特別報告第二十二號)市制改正ノ請願 (委員長報告)
- 第十九 (特別報告第二十四號)町村制中改正ノ請願 (委員長報告)
- 第二十 (特別報告第二十五號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
臺灣銀行法中改正法律案

官報號外 明治四十三年三月十二日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十九號 議長ノ報告

- 一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
山陰山陽橫斷線速成ニ關スル建議案
提出者 福井 三郎君 川島 龜夫君 恆松 隆慶君
- 漁業法改正法律案中修正案
提出者 高木 正年君
- (左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
一昨十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
東洋殖産株式會社法中改正法律案外三件
佐竹 作太郎君 渡邊 千冬君
中村 啓次郎君 吉植 庄一郎君
中倉 萬次郎君 神前 修三君
濱名 信平君 森 茂生君
松田 源治君 改野 耕三君
森 正君 平島 松尾君
大內 暢三君 岡崎 運兵衛君
永野 靜雄君 淺羽 靖君
松本 恆之助君 西村 治兵衛君
登録稅法中改正法律案
矢島 中君 原岡 永江君
春田 祐清君 木下 義之君
加藤 正英君 須藤 嘉吉君
東京市制案
尾崎 行雄君 渡邊 勘十郎君
千田 軍之助君 福田 又一君
加治 壽衛吉君 藏原 惟郭君
裁判所構成法中改正法律案外一件
戸水 寛八君 築山 和一君
夏井 保四郎君 江原 節君
菊池 侃二君 大井 卜新君
竹田 文吉君 山根 正次君
全國鑛泉並轉地療養地調査ニ關スル建議案
八木 逸郎君 白石 義郎君
小山田 信藏君 水間 此農夫君
丸山 孝一郎君 內野 延君
田中 龜之助君 阿部 德三郎君
高 森 新君 藤澤 幾之輔君
石田 仁太郎君 矢島 浦太郎君
卜部 喜太郎君 加瀬 禎逸君

齒科醫學校設立ニ關スル建議案

漆 昌 巖君 澤田 佐助君
港灣改良ニ關スル建議案外一件
長 晴 登君 菅 原 傳君
竹越 典三郎君 坪田 十郎君
福井 準造君 大岡 育造君
高山 長幸君 太田 清藏君
三浦 覺一君 高橋 直治君
小山内 鐵彌君 佐藤 庫喜君
鈴木 仙太郎君 千早 正次郎君
中安 信三郎君 服部 綾雄君
守屋 此助君 石田 平吉君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
東洋拓殖株式會社法中改正法律案外三件委員會

委員長 佐竹 作太郎君 理事 小川 平吉君
委員 矢島 中君 理事 須藤 嘉吉君

登錄稅法中改正法律案委員會
委員長 尾崎 行雄君 理事 江間 俊一君
委員 戶水 寬人君 理事 夏井 保四郎君

齒科醫學校設立ニ關スル建議案委員會
委員長 大井 卜新君 理事 藤澤 元造君
委員 全國礦泉並轉地療養地調査ニ關スル建議案委員會
委員長 八木 逸郎君 理事 伊東 祐賢君

港灣改良ニ關スル建議案外一件委員會
委員長 大岡 育造君 理事 山 管川 原村 野君

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、日程第一、藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案
「官立公立藥學專門學校若ハ醫學專門學校藥學科、文部大臣ノ指定シタル私立藥學專門學校」ニ改ム
○內務大臣(法學博士男爵平田東助君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテ一言陳述

致シマス、現行藥品營業並藥品取扱規則ニ於キマシテ、醫學專門學校藥學科ノ卒業業者ニ對シテハ無試験ニテ藥劑師免狀ヲ下附スルコトニナリテ居リマス、然ルニ專問學校令ニ依リマシテ設立、又ハ私立ノ藥學專門學校ヲ設ケル者ガ往々出來テ參ツタデアリマス、從來ハ藥學專門學校ト云フモノガ無カッタメニ、現行ノ規則中ニハ是等ノ學校ノ卒業生ニ向テ無試験ニテ免狀ヲ下附スルノ法律ハ無カッタデアリマス、因テ今回醫學專門學校藥學科ノ學科程度ト同等ナルベキ藥學專門學校ノ卒業業者ニ對シテモ無試験ヲ以テ免狀ヲ與ヘタイト思フデアリマス、何卒御協賛アラントラ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

第三 漁業法改正法律案(政府提出) 第一讀會(續)(委員長報告)
○板東勘五郎君(登壇)
漁業法改正法律案委員會ニ於テ調査致シマシタ其顛末ヲ概括シテ御報告致サウト存ジマス、御承知ノ通り漁業法ハ去ル三十四年ニ我國ニ始メテ制定ニナリタモデアリマス、由來全國沿岸到處ニ於キマシテハ舊政時代ヨリノ制度ガアリマシテ、又津々浦々ニハ漁業上ノ慣行各其趣ヲ異ニ致シテ居リマス、故ニ其制度慣行ヲ參酌致シマシテ嚴格ナル法規ノ下ニ其法律慣行ト調和ヲ計ルト云フコトハ非常ナル困難ナ問題ヲ惹起スデアリ、現行法律實施以來殆ト十年、其間ニ於キマシテ行政廳ノ處分ニ關スルモノ、又ハ漁業者ノ關係ニ於キマシテモ幾多ノ故障ヲ生ジ、種々ナルトコロ紛擾ヲ今更ニ重ネ、アルデアリマス、故ニ此漁業法ノ改正案ハ一面ニハ漁業上將來ニ對スル發達進步ヲ意味シタルコト、新ナル箇條ヲ多ク設ケラレテアリマス、又一面ニハ現在ノ漁業法ノ不備ナル點ヲ補フベク多ク箇條ガ增加サレテ居リマス、故ニ現在ノ漁業法ノ三十五條ニ對シ、此改正案ハ七十五條ノ多キ規定ニナリテ居リマス、政府ヨリハ委員會ヘ對シマシテ十二箇條バカリノ此提案ノ理由ヲ詳細ニ説明ガアリマシタガ、速記録モアルコトデアリマスカラ、是等ノコトヲ逐一諸君ニ御紹介スルノ煩ハ茲ニ省カウト存ジマス、其中ニ最も主要ナルモノハ此漁業權ナルモノヲ物權ト看做シマシテ土地ニ關スル規定ヲ準用致シ、漁業者ガ資金ヲ得ルノ途ヲ便利ニ致サウト云フ箇條ガ最も此改正案ノ骨ネトナリテ居リマス、是等ノ規定ニ對シマシテ關係ニ付キマシテモ、現在ノ法案ヨリ數條ノ明確ナルトコロ規定ヲ設ケラレテアリマス、或ハハカマシク言フテ居リマス、トコロノ彼汽船「トロー」業、或ハ汽船捕鯨業ニ付キマシテモ現在ハ省令ニ於テ總テ取締ヲ致シテ居リマスガ、此度ハ之ヲ法律ニ掲ゲマシテ、是等ノ漁業ニ對シマシテ將來重要視スルコトニ相成テ居リマス、且又從來ノ取締ニ於キマシテハ沿海ノ警察官ガ此監視ヲ致シテ居ル位ニ止マテ居リマスガ、此改正案ニハ海軍艦艇ノ乘組將校、若ハ港務官吏、税關官吏、殊ニ漁業監督吏員ナル者ヲ特ニ置キマシ

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、日程第一、藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案
「官立公立藥學專門學校若ハ醫學專門學校藥學科、文部大臣ノ指定シタル私立藥學專門學校」ニ改ム
○內務大臣(法學博士男爵平田東助君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテ一言陳述

致シマス、現行藥品營業並藥品取扱規則ニ於キマシテ、醫學專門學校藥學科ノ卒業業者ニ對シテハ無試験ニテ藥劑師免狀ヲ下附スルコトニナリテ居リマス、然ルニ專問學校令ニ依リマシテ設立、又ハ私立ノ藥學專門學校ヲ設ケル者ガ往々出來テ參ツタデアリマス、從來ハ藥學專門學校ト云フモノガ無カッタメニ、現行ノ規則中ニハ是等ノ學校ノ卒業生ニ向テ無試験ニテ免狀ヲ下附スルノ法律ハ無カッタデアリマス、因テ今回醫學專門學校藥學科ノ學科程度ト同等ナルベキ藥學專門學校ノ卒業業者ニ對シテモ無試験ヲ以テ免狀ヲ與ヘタイト思フデアリマス、何卒御協賛アラントラ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

第三 漁業法改正法律案(政府提出) 第一讀會(續)(委員長報告)
○板東勘五郎君(登壇)
漁業法改正法律案委員會ニ於テ調査致シマシタ其顛末ヲ概括シテ御報告致サウト存ジマス、御承知ノ通り漁業法ハ去ル三十四年ニ我國ニ始メテ制定ニナリタモデアリマス、由來全國沿岸到處ニ於キマシテハ舊政時代ヨリノ制度ガアリマシテ、又津々浦々ニハ漁業上ノ慣行各其趣ヲ異ニ致シテ居リマス、故ニ其制度慣行ヲ參酌致シマシテ嚴格ナル法規ノ下ニ其法律慣行ト調和ヲ計ルト云フコトハ非常ナル困難ナ問題ヲ惹起スデアリ、現行法律實施以來殆ト十年、其間ニ於キマシテ行政廳ノ處分ニ關スルモノ、又ハ漁業者ノ關係ニ於キマシテモ幾多ノ故障ヲ生ジ、種々ナルトコロ紛擾ヲ今更ニ重ネ、アルデアリマス、故ニ此漁業法ノ改正案ハ一面ニハ漁業上將來ニ對スル發達進步ヲ意味シタルコト、新ナル箇條ヲ多ク設ケラレテアリマス、又一面ニハ現在ノ漁業法ノ不備ナル點ヲ補フベク多ク箇條ガ增加サレテ居リマス、故ニ現在ノ漁業法ノ三十五條ニ對シ、此改正案ハ七十五條ノ多キ規定ニナリテ居リマス、政府ヨリハ委員會ヘ對シマシテ十二箇條バカリノ此提案ノ理由ヲ詳細ニ説明ガアリマシタガ、速記録モアルコトデアリマスカラ、是等ノコトヲ逐一諸君ニ御紹介スルノ煩ハ茲ニ省カウト存ジマス、其中ニ最も主要ナルモノハ此漁業權ナルモノヲ物權ト看做シマシテ土地ニ關スル規定ヲ準用致シ、漁業者ガ資金ヲ得ルノ途ヲ便利ニ致サウト云フ箇條ガ最も此改正案ノ骨ネトナリテ居リマス、是等ノ規定ニ對シマシテ關係ニ付キマシテモ、現在ノ法案ヨリ數條ノ明確ナルトコロ規定ヲ設ケラレテアリマス、或ハハカマシク言フテ居リマス、トコロノ彼汽船「トロー」業、或ハ汽船捕鯨業ニ付キマシテモ現在ハ省令ニ於テ總テ取締ヲ致シテ居リマスガ、此度ハ之ヲ法律ニ掲ゲマシテ、是等ノ漁業ニ對シマシテ將來重要視スルコトニ相成テ居リマス、且又從來ノ取締ニ於キマシテハ沿海ノ警察官ガ此監視ヲ致シテ居ル位ニ止マテ居リマスガ、此改正案ニハ海軍艦艇ノ乘組將校、若ハ港務官吏、税關官吏、殊ニ漁業監督吏員ナル者ヲ特ニ置キマシ

○議長(長谷場純孝君) 會議ヲ開キマス、日程第一、藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案
「官立公立藥學專門學校若ハ醫學專門學校藥學科、文部大臣ノ指定シタル私立藥學專門學校」ニ改ム
○內務大臣(法學博士男爵平田東助君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテ一言陳述

致シマス、現行藥品營業並藥品取扱規則ニ於キマシテ、醫學專門學校藥學科ノ卒業業者ニ對シテハ無試験ニテ藥劑師免狀ヲ下附スルコトニナリテ居リマス、然ルニ專問學校令ニ依リマシテ設立、又ハ私立ノ藥學專門學校ヲ設ケル者ガ往々出來テ參ツタデアリマス、從來ハ藥學專門學校ト云フモノガ無カッタメニ、現行ノ規則中ニハ是等ノ學校ノ卒業生ニ向テ無試験ニテ免狀ヲ下附スルノ法律ハ無カッタデアリマス、因テ今回醫學專門學校藥學科ノ學科程度ト同等ナルベキ藥學專門學校ノ卒業業者ニ對シテモ無試験ヲ以テ免狀ヲ與ヘタイト思フデアリマス、何卒御協賛アラントラ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス
○議長(長谷場純孝君) 議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

第三 漁業法改正法律案(政府提出) 第一讀會(續)(委員長報告)
○板東勘五郎君(登壇)
漁業法改正法律案委員會ニ於テ調査致シマシタ其顛末ヲ概括シテ御報告致サウト存ジマス、御承知ノ通り漁業法ハ去ル三十四年ニ我國ニ始メテ制定ニナリタモデアリマス、由來全國沿岸到處ニ於キマシテハ舊政時代ヨリノ制度ガアリマシテ、又津々浦々ニハ漁業上ノ慣行各其趣ヲ異ニ致シテ居リマス、故ニ其制度慣行ヲ參酌致シマシテ嚴格ナル法規ノ下ニ其法律慣行ト調和ヲ計ルト云フコトハ非常ナル困難ナ問題ヲ惹起スデアリ、現行法律實施以來殆ト十年、其間ニ於キマシテ行政廳ノ處分ニ關スルモノ、又ハ漁業者ノ關係ニ於キマシテモ幾多ノ故障ヲ生ジ、種々ナルトコロ紛擾ヲ今更ニ重ネ、アルデアリマス、故ニ此漁業法ノ改正案ハ一面ニハ漁業上將來ニ對スル發達進步ヲ意味シタルコト、新ナル箇條ヲ多ク設ケラレテアリマス、又一面ニハ現在ノ漁業法ノ不備ナル點ヲ補フベク多ク箇條ガ增加サレテ居リマス、故ニ現在ノ漁業法ノ三十五條ニ對シ、此改正案ハ七十五條ノ多キ規定ニナリテ居リマス、政府ヨリハ委員會ヘ對シマシテ十二箇條バカリノ此提案ノ理由ヲ詳細ニ説明ガアリマシタガ、速記録モアルコトデアリマスカラ、是等ノコトヲ逐一諸君ニ御紹介スルノ煩ハ茲ニ省カウト存ジマス、其中ニ最も主要ナルモノハ此漁業權ナルモノヲ物權ト看做シマシテ土地ニ關スル規定ヲ準用致シ、漁業者ガ資金ヲ得ルノ途ヲ便利ニ致サウト云フ箇條ガ最も此改正案ノ骨ネトナリテ居リマス、是等ノ規定ニ對シマシテ關係ニ付キマシテモ、現在ノ法案ヨリ數條ノ明確ナルトコロ規定ヲ設ケラレテアリマス、或ハハカマシク言フテ居リマス、トコロノ彼汽船「トロー」業、或ハ汽船捕鯨業ニ付キマシテモ現在ハ省令ニ於テ總テ取締ヲ致シテ居リマスガ、此度ハ之ヲ法律ニ掲ゲマシテ、是等ノ漁業ニ對シマシテ將來重要視スルコトニ相成テ居リマス、且又從來ノ取締ニ於キマシテハ沿海ノ警察官ガ此監視ヲ致シテ居ル位ニ止マテ居リマスガ、此改正案ニハ海軍艦艇ノ乘組將校、若ハ港務官吏、税關官吏、殊ニ漁業監督吏員ナル者ヲ特ニ置キマシ

テ、此取締ヲ嚴密ニスルヤウナコトニテ居リマス、其他或ハ水面占有ト漁業者トノ關係、若ハ他人ノ土地ニ對シテ漁業者ガ施設ヲ爲スベキトコノ問題、其他マダ三四ノ規定ヲ増加致サレテ居リマス、委員會ニ於キマシテ最モ議論ノ多クアリマシタノハ、此漁業權ノ物權トシマスル其性質ニ對シテ、各箇條ニ種々ノ議論ガアリマシタ、ソレカラ此十六條ノ「漁業權者ノ申請ニ依リテ更新スルコトヲ得」ト云フ箇條ニ對シマシテハ、是ハ漁業權者ガ期限ノ満了ノ節、其漁業權ヲ繼續スベク申請ヲ致シテ、行政廳ノ許可ヲ得ルノ規定アリマス、此規定ハ是ハ從前カラ存シテ居ル規定デゴザイマスガ、事實上行政官廳ノ取扱ニ付キマシテ種々ノ問題ガ起ツタアリマス、併ナガラ此箇條ハ從來ノ慣行ガ明カナルモノニ對シマシテハ、無論此更新ノ制度行政官廳ハ許可ヲ與ヘルト云フコトヲ確メテ置キマシタ、尙主務大臣ヨリ當場ニ於キマシテ、此箇條ノ立案ノ趣旨ニ依リ、將來行政官廳ニ於キマシテ、慣行ノ確實ナルモノニハ必ず許可ヲ爲スベキ方針ヲ執ラレ、コトヲ言明スベク、委員會ヨリ特ニ求メ置キマシタ次第デゴザイマス、其他ハ汽船「トロー」業ノ如キ若ハ此箇條ノ中ニ水產組合ガアリマスガ、是モ現行法律ニ存在ハ致シテアリマスガ、之ヲ特ニ設ケルト云フ議論モアリマシタガ、免ニ角最モ多ク議論ノアリマシタ箇條ハ頗ル難物ナモノデアリマシテ、ソレダケ適當ナル修正ヲ見ズシテ、却テ原案ノ多クノ場合ニ可決スルコトニ相成リマシタ、而シテ結局諸君ノ前ニ呈シテ置キマシタ此報告書ノ箇條ガ修正ニナルコトニ相成リマシタ、簡單ニ此箇條ニ付テ委員會ノ調査致シマシタ理由ヲ説明致シマス、第一條第二項中「享有スル」ヲ「有スル」ニ改ム、第二條第二項中「漁業ニ關スル」トアルヲ「漁業ニ關シ」ニ改ム、是等ハ字句ノ修正デアリマス、第七條ハ是ハ入漁權ノコトデアリマスガ、此處ニ此箇條ヲ置キマスコトハ箇條ノ配列上甚ダ適當ナイト云フノ故ヲ以テ此第七條ハ第十二條ニ譲リ、第八條、第九條、第十條、第十一條、第十二條ヲ漸次繰上ゲルコトニナリマシタガ、是ハ箇條ノ配列ノ上カラ起ツタコトナリ理由ハアリマセス、ソレカラ第二十四條第一項ノ「水產動物ノ繁殖保護船舶ノ航行碇泊留置」此「船舶ノ航行碇泊留置」ノ下ヘ「水底電線ノ敷設」ト云フコトヲ挿入致シマシタ、是ハ船舶ノ航行碇泊留置ト同一ノ性質ヲ有シテ居リマスガ故ニ、此水底電線ノ敷設ト云フコトヲ之ニ入レルコトヲ適當ニテ修正ニナリマシタ、次ニハ同第二十四條第二項「漁業權者ニテ本法又ハ本法ニ基キテ獲スル命令ニ違反シタルトキ」其下ノ亦前項ニ同シト云フ六字ヲ削リマシテ、「違反シタルトキハ漁業ヲ制限シ又ハ停止スルコトヲ得」ト云フコトニ修正ニナリマシタ、是ハ本法又ハ本法ノ規定ニ依リテ獲スル命令ニ違反シタル場合ハソレノ處罰ガアルノデアリマス、其處罰ノ上ニ尙且此二十四條ノ本文ニアル如ク、終ニハ免許ヲ取消スト云フガ如キハ餘リ苛酷ニ失スルノ制裁デアルト云フノ故ヲ以テ、此命令違反ナルモノハ漁業ノ制限又ハ停止スルコトヲ得ト云フコトヲ止メテ修正デアリマス、ソレカラ第六、第三十四條ノ第一項、第二號水產動物、若ハ其製品ノ販賣、又ハ「販賣ノ爲ニスル」ト云フ七字ヲ削除致シマシタ、是ハ取締上此文字ガアリマシテハ甚ダ疑ハシキ解釋ガ起リマスガ故ニ、其販賣ノタメニスルト否トニ拘ハラズ、禁制品ヲ所持シタ者ニハ之ニ制裁ヲ付ケルコトヲ得ルト云フコトガ明瞭デアリマスガ故ニ、其「修正ニナリマシタ、ソレカラ第四十一條第四項「漁業監督吏員ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」是ハ別ニ此通り掲ゲマセデモ凡ソ官制ハ勅令ヲ以テ其規定ヲ定メルハ當然ノコトデアリマスガ、故ニ此條文ヲ削リ去リマシタ、四十七條、四十八條中「監督官廳」トアリマスガ、總テ行政官廳ト直シマシタ、是モ總テ箇條ニハ行政官廳ト致シテアリマスガ、此所ダケ特ニ監督官廳トアリマスガ故ニ、之ヲ行政官廳ト直スコトニナリマシタ、五十六條「漁場ノ區域漁業權」下ニ「若ハ入漁權」ヲ範圍ト云フコトノ五

字ヲ挿入スルコトニ相成リマシタ、是ハ此五十六條ノ規定ハ漁業者ガ相互ニ關係ヲ生シマシタ場合ニハ監督官廳ノ恰モ勸解ノ裁判ヲ受クベキ是ハ箇條ニナリテ居リマス、然ルニ此箇條中ニハ漁業權者ト、又入漁權者トノ關係ニハ此箇條ヲ直ニ適用スルコトガ出來マセズ故ニ、實際ノ問題ニ付キマシテハ甚ダ不便利ト云フノ故ヲ以テ、ヤハリ漁業權者ト入漁權者トノ爭モ等シク行政官廳ノ勸解ノ裁判ヲ受ケルト云フコトニ致ストス標ナコトデ之ヲ挿入スルコトニ決定致シマシタ、第五十八條第一項、第二號是ハ「漁業停止中ノ專用漁場ニ於テ漁業ヲ爲シタル者」此原文デアリマス、頗ル曖昧ナルトコロノ解釋ガ續出スルガ故ニ原文ノ精神ヲ變ゼズ致シマシテ、之ヲ「專用漁場ノ停止中其漁場ニ於テ停止シタル漁業ヲ爲シタル者」趣意ニ相違ハゴザイマセガ、文字ヲ明カニ致シタ、是ハ修正デアリマス、次ニ五十九條、是ハ全文ヲ總テ修正致シマシタ、五十九條ハ是ハ汽船「トロー」業、又ハ汽船捕鯨業、其他爆發物ヲ以テ漁業ヲ爲ストコロノ制裁ヲ規定シタモノデアリマス、然ルニ御承知ノ通り此汽船「トロー」業ニ付キマシテハ最モ世間ニヤカマシク非難ヲ致シテ居ルデアリマス、此問題ニ付キマシテハ或ハ禁止ノ制裁ヲ設ケルト云フ議論モゴザイマシタ、海岸ヨリ幾十哩ヲ限ッテ禁漁區域トスルト云フ說モアリ、或ハ現在ノ「トロー」業ノ船舶ヲ制限スルト云フ說モアリ、若ハ其船舶ニ沒收スルト云フイロノナ説ガゴザイマシタガ、ソマリ是ハ取締ノ上カラ嚴重ニナスト云フ意味ヲ以テマシテ、汽船「トロー」業ニ限リ一千圓ノ罰金ニ處スルコトヲ五千圓ノ罰金ニ處スルコトニ直シタノガ、即チ此本文ヲ總テ變ヘタ原因デアリマス、從來ハ汽船「トロー」業ニ關シマシテハ省令ニ於テ百圓以下ノ罰金デアリマス、所ガ五千圓ノ罰金ヲ科スルト云フコトノ意味ニ直シマシタガ、故ニ此全文ガ諸君ノ御手許ニ出シテ居リマス、五十九條ノ通りニ直シマシタ、是ハ讀上ゲマセス、ソレカラ次ニハ六十條デアリマス、六十條「漁業權者ノ侵害シタル」トアリマス、其「漁業權」次ニ「又ハ漁業組合員ノ漁業ヲ爲スル權利」ト云フ文字ヲ挿入致シタルデアリマス、此修正ハ專用漁場ノ場合ニ於キマシテ其漁業權ハ漁業組合ガ取得シテ居リマス、而シテ漁業組合ノ自身ハ漁業ヲ爲スコトヲ得ナイ規程ニナリテ居ル、漁業ヲ爲スモノハ其組合中ノ組合員ガ漁業ヲ爲スノ權利ト云フ上ニ於キマシテ漁業ヲ爲シテ居ルデアリマス、故ニ漁業上ニ侵害ヲ受ケタ場合ニハ、其組合員ト雖モ自己ノ權利ヲ妨害シタル者ニハ此箇條ニ依リテ其妨害ヲ防禦スルコトヲ得ニテ意味ニ於テ此箇條ハ直リマシタ譯デアリマス、唯今申上ゲマシタ箇條ガ委員會ニ於テ修正ニナリマシタコトデアリマスガ、此本案ニ對シマシテノ委員會ハ委員會ノ手續上更ニ調査委員等ヲ置キマシテ、十幾回ヲ重ネ、逐條丁寧反覆ニ應答モ致シ、又意見モ交換ヲ致シタ譯デアリマス、而シテ此案ノ大體ニ付キマシテハ漁業將來ノ利益、又現在法案ノ不備ヲ補フタメニハ一般ヨリ此案ハ歡迎ヲ致サレテ居リマス案デアリマスガ故ニ、何卒委員會修正ノ通り御贊成ニ相成リマシテ、此案ノ成立センコトヲ希望ヲ致シマス(拍手起ル)

○加瀬禮逸君 議長

○議長(長谷川純孝君) 何か質問デスカ

○加瀬禮逸君 サウデス、私ハ此場合政府ニ對シテ質問ヲ致シタイト思ヒマス、是ハ專ラ汽船「トロー」業ニ關シテハゴザイマス、改正案ヲ見マスレバ汽船「トロー」業ニ對シタル「トロー」業ノ取締、並ニ其制限、若ハ禁止ニ付キマシタハソレノ主務大臣ガ是等ノコトヲ爲シ得ルコトノ規程ガアリマス、是ハソマリ漁業ノ許可ハ無論各地ノ狀況ヲ斟酌スベキ要ガアルデアリマスガ、豫メ斯ウ云フ場合ニ禁止スル、斯ウ云フ場合ニ制限スルコトヲ云フコトヲ法文ニ限定シテ置クコトハ出來ナイカラ、之ヲ主務大臣ノ裁量ニ委任シタルデアリマシテ、誠ニ法文トシテハサウアッテ然ルベキコト、思ヒマスガ、茲

ニ其「トロール」業ニ對スル漁業ノ制限若ハ禁止ニ付テノ政府ノ意向ヲ尋ネテ置キタイコトハ少シク重大デゴザイマスカラ、私ハイツモ例ニ倣ハズテ少シク自分ノ意見ヲ加ヘテ、且「二」ノ事例ヲ舉ゲテ御尋ヲシタイト思ヒマス、「トロール」業ト申シマスレバ諸君モ御承知ノ通り、例ノ網ノ兩端ニ大キナ錘ヲ結付ケテ、之ヲ深ク海底ニ沈メテサウシテ後ニ汽船ノ力ヲ以テ其海底ヲ引摺テ行クノデアリマス、故ニ此「トロール」漁業ニ依ッテ操業ヲセラル、ニ於テハ魚族ハ棲息スルコトハ出來ヌノデアアル、此「トロール」漁業ハ海底ニアルコロノ海草マデモ持行クノデアリマス、故ニ其結果ハ水産動植物ノ繁殖ヲ害シマシテ、ワレガタメニ一般ノ漁業ヲ絶滅スルコト云フ影響ヲ生ズルモノデアリマス、若モ此「トロール」漁業ヲ許ストコロノ區域ニシテ少シク近海ニ接シマスレバ、沿岸ノ漁業ト云フモノハ、爲ニ全ク漁獲ヲナスコトガ出來ヌノデアリマス、故ニ此改正ニ於テ主務大臣ニ制限若ハ禁止ノ權限ヲ附與シテゴザイマスルガ、此制限、若ハ禁止ニ付キマシテハ、深ク此「トロール」漁業ト近海漁業トノ利害ノ調和ト云フモノヲ計ルコトニ御考ヲ煩ハサナケレバナラヌデアル、茲ニ私ハ一ツ自分ノ取扱ヒマシタルトコロノ事例ヲ舉ゲマシテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、時ハ多分四十年ノ九月頃デアット思ヒマス、茨城縣人ノ野澤泰次郎ト云フ人ノ所有ニ係ル汽船海光丸ト云フ船舶ガ彼ノ銚子海ニ於テ「トロール」漁業ヲ營ンテ居リマシタ、所ガ此時ニ於ケル禁止區域ト云フモノハ僅ニ陸地ヲ距ル一海里、若ハ二海里ノ所ニ於テ操業ヲシタノデアリマス、故ニ唯今申上ケルヤウナ關係ハ海底ノ物ハ悉ク取去ラレ魚卵、若ハ海草マデモ持行カル、結果、此近海ノ漁業者ト云フ者ハ全ク以テ此タメニ著シキ害ヲ被リ、遂ニハ漁獲ヲナスコト能ハザル慘狀ヲ呈スルノデアリマス、其處ニハ丁度八百ノ漁業者ガアリマシテ、當時六千ノ漁夫ガアッタノデアリマスガ「トロール」業ノ起ラザリシ以前ニ於テハ一日ニ多キハ四五圓、少ナキモ一圓、一圓五十錢ノ漁獲物ヲ得タノデアリマスガ、此海光丸ガ操業ヲナスニ至リマシテハ、多キモ一日一圓ニ上ツタコトガナイ、甚シキハ毎日空船歸ルコト云フ有様ニナリマシテ、茲ニ八百ノ漁業者、竝ニ六千ニ垂ントスル漁夫ハ全ク飢渴ニ迫ルト云フ慘狀ヲ演ジタノデアリマス、所ガ此「トロール」業者ノ不道徳ナコトガアリマスノデ、ワレハ毎夕二回、若ハ一回禁止區域内ニ來ツテ漁獲ヲナス、即チ船ノ速力ガ帆船ヨリ速ナリト云フ關係ヨリシテ、屬沿岸漁業ノ區域内ニ侵入シ來リマシテ、遂ニ利根川ノ河口ニマデ接近シテ操業ヲナスニ至リマシタカラ居テモ立ツテモ居ラヌヤウナ慘狀ニナリマシタ、此時ニ當リマシテ銚子組合ハ此汽船ノ所有者ニ向ツテ屢々交渉ヲ開始シテ、沿岸ニ於テ操業ヲセヌト云フコトノ打合せヲ致シマシタ、ケレドモ或ハ夜間速力ノ早キニ乘ジテ屢々禁止區域内ニ入ツテ漁業ヲヤツタニ於テ無智ナル漁民ハ今ヤ六千人ノ死活ニ關スル問題デアルト云フノデ、一夜海光丸ニ躍リ込ミ、網、其他器具ヲ破壊シタノデアリマス、是ニ於テ一ノ刑事裁判事件ガ起リマシテ、此處ニ列席セラレテ居ル高木代議士ノ盡力ニ依リマシテ解決ヲシタノデアル、此裁判ノ結果ハ申上ケル必要アリマセウガ、此「トロール」業ノ沿岸漁業ニ與フル損害ト云フモノハ甚大ナルモノシテ裁判所ニ於テハ全ク同情アルトコロノ、最モ被告ニハ利益ナルトコロノ判決ヲ下サレタノハ昨年デゴザイマス、左様ナ有様デアツテ、此「トロール」業ト云フモノハ海底ヲ浚ヒ、海草ヲ浚ヒ、魚卵マデ、浚ツテ而シテ漁ヲナスモノデアリマスルガ故ニ、多クノ沿岸漁業ト云フモノハ殆ド絶滅シマフ故ニ私ハ此場合ニ於テ政府ニ質問ヲ致シタイ、「一」ツノ問ガアルノデアリマス、即チ第一トシテハ「トロール」漁業ヲ許可セラル、場合ニ當リマシテハ陸地ヨリ何海里以內ヲ禁止區域トセラレノデアリスカ、之ニ付キマシテハ或ハ領海トカ公海トカ云フコトノ關係モ起リマセウガ、私ノ考ヘルトコロニ依レバ陸地ヨリ二海里マデガ、領海デアツテ、三海里以上ハ公海デアル、公海ニハ國ノ主權ガ及バヌト云フコトモアリマスガ、是ハ即チ制海權ノ場合デアツテ、國家

ノ主權ノ及バヌ範圍ノ場合デアリマシテ、人ニ對スル取締ノ上ニ於テハ遠洋ニ於テモ毫モ差支ナイノデアリマス、故ニ三海里以上ヲ我有ニスルトカ云フコトハ無論出來マスマイガ、其公海ニ於テ漁業ヲスルトコロノ人ニ對シテハ、例ヘバ万海里先キニ至リマシテモ之ガ取締リノ出來ヌト云フコトハナイノデアル、故ニ此場合ニ於テハ海ニ對スル關係ニアラズ人ニ對スル關係ナルガ故ニ、此自國臣民ノ有ニ歸スル汽船「トロール」業ニ對シテハ先ヅ陸地ヲ距ル何海里マデヲ禁止區域トセラル、思召デアリマスガ、是ニ於テ私ハ更ニ一ツ附加ヘテ事實ヲ申上ケテ見タイト思フノデアリマス、此事ニ付テハ大分「トロール」業ニ對スル非難ハ唯今委員長ノ御報告ニモアリマシタ如ク頗ル盛ンデアル、過日赤坂ノ何處其處カニ於キマシテ水産大會ヲ催サレテ、其場合ニ於テモ隨分當局者ニ對シテ寧ロ禁止セヨトマデ唱ヘラレタト云フコトデアリマス、免ニ角「トロール」漁業ト沿海漁業ト其利害ノ衝突ハ夥シイノデアル、之ニ對シテ當局者ハ注意シナケレバナラヌト云フコトハ委員會ニ於ケル委員諸君モ此點ニ付テ力ヲ極メテ質問ヲセラレタノデアリマス、其時ニ於ケル政府委員ノ答辯ニ區域ハ相當ニ定メタルトカ、取締モ相當ニ出來テ居ル、故ニ沿海ノ漁業者ト「トロール」漁業者トノ利害ノ衝突ハナイト云フノデアルガ、是ハ實地ヲ知ラヌデアリマス、昨年ノ四月六日省令三號ヲ以テ「トロール」漁業ニ於ケル規則ヲ發布サレタ當時ニ於テ、丁度農商務省ガ「トロール」漁業區域トシテ許可ヲ與ヘタモノガアリマス、ソレハ各地ニ互ツテ居リマスガ、先ヅ私ノ知ツテ居リマスルノハ千葉縣ノ銚子犬吠岬ヨリ房州ノ八幡岬ニ至ル線ヲ「トロール」漁業ヲ許スト云フコトニナツテ居リマス、圖ニ就テ之ヲ見マスルト犬吠岬ヨリ八幡岬ヲ起點トシテ之ニ直線ヲ引キマスルト陸地ヲ距ル何海里ドコロデナイ、甚シキハ陸上ニマデ及ンデ居ル、ソレハ犬吠岬附近、殊ニ海上郡高神村ノ一部ハ此「トロール」漁業ヲ許サレタル地域ニ入ツテ居リマス、斯様ナ場合デアリマスカラ此沿岸ノ漁業者ト「トロール」業者トノ間ニ衝突ハ免カレナイノデアリマス、此ノ如ク金華山附近ヲ掛ケテ陸地ヲ距ル一海里カニ二海里ノ箇所ニ於テ最モ魚族ノ繁殖ヲ妨ゲル「トロール」漁業ヲ許サレタノハ沿岸ノ漁業ヲ絶滅セシムルモノデアリマス、是デモ尙取締ガ十分デアル、若ハ禁止區域ガ定メタルト云ハレマスルガ、私ハ此點ニ於テハ委員會ニ於ケル政府委員ノ沒交渉ト云フ三字ヲ以テ甘シムルコトハ出來ヌノデアリマス、故ニ更ニ茲ニ於テ此禁止區域ハ陸地ヨリ何海里以外ニ於テ始メテ此「トロール」漁業ヲ御許シナナル御精神デアルカト云フコトヲ同ツテ置キタイ、第二ニハ此「トロール」漁業ニ付テハ今日マデノ經過ニ依リマスルト、大概二十尋、若ハ多クテ四十尋位ノ深サニ於テ漁業ヲシテ居ル、是ハ結局「トロール」汽船ガ小サクテサウシテ漁具ガソレ以上ニ及バヌカラハ、此ノ如キ設備ニ甘シテ居リマシテハ之ヲ遠キ大洋ニ出デテ漁業ヲシト云フコトハ是ハナイノデアリマス、先ヅ沿岸漁業者ノ利益ヲ保護シ、又「トロール」漁業ニモ妨ゲナカラシメントスルニハ成ルベクソレニ適フヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、ソレニハ先ヅ船舶ノ構造、竝ニ漁具ノ設備モ相當ニシナケレバナラヌ、故ニ今後「トロール」漁業ヲ許可サル場合、竝ニ漁具ノテハ其船舶ノ何噸以上、或ハ網ノ何尋以上ノ箇所ニ於テ出來得ルヤウナ手續キニシナケレバナラヌト云フヤウナ制限デモ付ケル思召デアルカドウデアリマスガ、此一點ニ付テ詳細ナル御答辯ヲ煩ハシタイ、是ハ銚子沿岸漁業ニ重大ナ問題デアルガ故ニ、幸ニ農商務大臣ノ御出席ガアリマスカラ最モ明瞭ニ最モ詳細ナル御答辯アラントラ希望シマス

(政府委員道室齊君登壇)

○政府委員(道室齊君) 唯今加瀬君カラ「トロール」漁業ニ付テノ御質問デアリマシタガ、其第一ノ御質問ハ沿岸ヲ距ルコト何海里ヲ以テ禁止ノ區域トスルヤ否ヤ、第二ハ將來許スベキ「トロール」船ノ構造噸數、若ハ漁場ノ海深何等マデヲ以テ標準トスルヤト云フ御尋ネノヤウニ承リマシタ、之ニ付テ御答ヘヲ致シマス、此御尋ネニナリマシタ

コトニ付テ段々理由ヲ御述ベニナリマシタ中ニ、茨城縣下ニ於キマスところノ光海丸ノ事實ヲ御引キニナリマシタガ、是ハ成程此「トロール」漁業ニ付キマシテ往々新聞ニモ見エテ居リマシ、又之ニ付テ世人ガイロノ「説ヲ唱ヘテ居リマスルガ、併ナガラ實ハ實際ノ狀況ハ今日マデ世ニ傳テ居ルコトヨリハ餘程事實ガ異ナッテ居ルデアリマス、大體申上デマスル此船ハ明治二十八年ニ構造ニナツタデアリマス、ツレバ極メテ此船ハ不完全デアリマシタ、當時彼ノ地方ニ於キマシテ漁業ヲ致シマシタケレドモ、船ガ不完全デアリ、又ツレニ乗テ居リマスルコトヨリハ漁獲モノモ不馴デアリ、又漁具モ極メテ拙劣ナモノデアッタノデ、漁獲物ト云フモノハ誠ニ僅カナモノデアッテ、其營業者ニ取リマシテハ折角多額ノ金ヲ掛ケマシタケレドモ、收益ヲ見ルコトガ出來ナクッテ、屢此所有者ハ代リマシタ、又此千葉縣ノ方ニ於キマシテ漁業ヲ致シタコトモアリマスガ、又他ノ方面ヘ往ッテヤッタコトモアリマスガ、免ニ角船ガ不完全、且之ヲ操縱致シマスル者モ不馴デアッタメニ收益ヲ見ルコトガ出來ナカッタ、夫故ニ船主ハ屢代リマシタ、サウ云フヤウナコトデアリマスカラシテ自然ト此沿岸漁民トノ多少ノ衝突モアリマシタ、ツレハ操縱ガ誠ニ拙劣デアッタ結果デアリマス、又此「トロール」ノタメニ其沿岸ノ魚族ガ減少シタト云フコトヲ言ウテ居リマスケレドモ、唯今申上ゲルヤウナ次第ヲ收獲ヲ見ルコトガ多ク出來ナカッタヤウナ始末デアリマスカラ、ツレガタメニ沿岸ノ魚族ヲ盡滅サセタヤウナ形跡ハ曾デナイノデアリマス、又漁民トノ爭ニ付ア他ニ原因ガイロノアルヤウデアリマス、且又此當時海光丸ガ漁業ヲ致シマシタ時分ニハマデ此禁止區域ナドハ設ケテナカッタデアリマス、夫故ニ或ル場合ニ於キマシテハ今御説ノ如ク一海里、或ハ二海里ノ處ニ於テ操縱シテ居ルコトモアッタラウト思ヒマスケレドモ、ツレハ禁止區域ヲ設ケナイ、自由ニ許シテアッタ時代デアリマス、ツレバ多少ノ衝突モアッタデアリマセウガ、要スルニ此船デ以テ魚族ヲ獲リ盡シマウヤウナコトハ、ナカク往カナカッタ、誠ニ船主ハ甚ダ迷惑ヲシタヤウナ次第デアリマス、其後此海光丸ハ日本海ノ方ヘ回リマシタ、昨年デゴザイマシタ沈没シマシタ之ガ我邦ニ於ケル始メト「トロール」船デアッテ誠ニ不完全ノ船デアリマシタ、此ノ如キ不幸ナル結果ヲ見タノデアリマス、此事實ヲ以テ將來ヲ慮ルハ「トロール」業發達ノタメニ甚ダ惜ムトコロデアリマスカラ一言辯シテ置キマスツレカラ第一ノ御尋ネノ沿岸ノ距離コト何海里ニスルヤ否ヤト云フコトノ御尋ネデゴザイマスガ、是ハ現在省令デ定メテ居リマスルところハ三四十海里ニ互ルところモアリマス、又沿岸ノ所ニ於キマシテモ禁止區域ニ入ッテ居ナイ所モアルノデアリマス、ツレハ委員會デモ屢申述ベマシタ通り此「トロール」船ハ何レノ海デモ必ズ之ガ操縱ガ出來ルト云フモノデナイノデ、第一是ハ潮流ノ關係モゴザイマス、又海底ノ模様モ依リマス、ツレカラ此魚族ノ棲息シテ居ル種類ニ依ッテ之ヲ操縱スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトモアリマス、又海底ノ深淺ニモ依リマスノデアリマス、夫等ノ標準ト致シマシタ第一ニ沿岸漁民ヲ保護スルヤウシテ此「トロール」業ヲ併セテ發達サセタムト云フ考ヲ以テマシタ、政府ハ現在ニ禁止區域ヲ設ケタ次第デゴザイマス、故ニ沿岸ノ距離コト平均何海里ヲ禁ジタガ宜イコト云フコトハツレハ寧ロ事實ニ適シナイ、禁止區域ニナルダラウト思ヒマス、今日ノ禁止區域ノ事實上此區域内ニ於テ操縱シタナラバ沿岸漁民ノ保護ニナラナイ、魚族ノ繁殖ヲ害スルノデアリト云フコトヨリ見マシテ此禁止區域ノ線ガ陸上ニ係ッテ居ルト云フ説ガ段々ゴザイマス、是ハ御承知ノ通大吠岬ニ燈臺ガゴザイマス、其燈臺ヲ見通シテ一ノ禁止區域ノ線ヲ引イタノデアリマス、夫故ニ自然其線ハ陸上ニ係ルノガ當然ノコトデアリマス、ツレハ海上デアリマスカラ何レノ禁止區域ヲ設ケルニモ何處カ目標準ナリ標準ナリ極メテ、サウシテ線ヲ引カネナラス、即チ今ノ大吠岬ニ於キマシテ

モツレデ其燈臺ヲ見通シニ引イタノデアリマス、以上申述ベマシタカラ陸地ヲ距ルコト沿岸カラ何海里ト云フコトヲ平等ニ極メルト云フコトハ頗ル事實ニ適シナイコトニナルト思ヒマス（「簡單々々」ト呼フ者アリ）ツレカラ第二ノ御尋デゴザイマス、船ノ構造若ハ噸數其他ノコトハドウスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ無論遠洋ニ耐エルダケノ構造噸數ト云フコトヲ標準ニ採リマシテ、サウシテ許可ヲ致シテ居ルノデアリマス、勿論今日マデ此禁止區域ヲ設ケマスル前カラ引續イテ營業ヲ致シテ居リマスルモノニ付キマシテハ例外ト致シマシテ許可シテゴザイマス、ケレドモ其後將來ニ許ストコロノモノニ付テハ凡ソ標準ヲ立テ、サウシテ遠洋漁業ニ耐ル構造設備ノモノヲ以テ標準トシテ許可ヲ決シテ居ル次第デゴザイマス

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開クトヲ希望シマス

（「贊成」ト呼フ者アリ）

○議長（長谷川純孝君） 直ニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（長谷川純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ直ニ本案ニ二讀會ヲ開キマス

高木正年君

漁業法改正法律案

第二讀會

○高木正年君 我先ツ修正ヲ致ス箇條ノ要旨ヲ申シマシテ直接ニ自分ノ議論ヲ結ブ積リデアリマス、私ハ第一ニ此十六條ノ但書ニ「漁業權者ノ申請ニ依リテ更新スルコトヲ得」トアル此「更新スルコトヲ得」トアルノ「更新」ト修正致シタイ、是ハ委員會ニ於テ特別調査委員ニ當ラセタ方々ノ審査セラレタ其決定案デアリマス、委員會ノ總會ノ場合ニ再ビ政府案ニ戻ッテ、私ハ特別委員ノ修正セラレタル其法文其儘ヲ自己ノ修正案トナスノデアリマス、ツレカラ二十四條ハ第一項ノ次ニ「免許ヲ取消サレタルモノハ補償ヲ求ムルコトヲ得」ト云フ一箇條ヲ加ヘル、ツレカラ第二十五條「トロール」業ニ付キマシテ、法文ニハ汽船「トロール」漁業、又ハ汽船捕鯨業ハ主務大臣ノ許可ヲ得テ營業スル場合ニハ、主務大臣ノ許可ヲ得テ、許可ヲ得ルト云フ用語ニナッテ居ル、之ヲ「汽船「トロール」汽船捕鯨業ハ陸岸ヲ離ル、二十海里以上ノ海上ニ於テ其營業ヲ爲ス場合ニ於テ主務大臣ハ之ヲ許可スルコトヲ得」、斯様ニ修正致スノデアリマス、其法文ハ唯今議長ノ手許ヘ差出シデアリマス、出シマシタ法文ノ通修正スルノデアリマス、何ゼ斯様ニ修正スベシナラヌカト申シマスルト、先刻委員長ノ言葉中ニ「漁業法」中デ最モ議論ノアツタ箇條ハ却テ原案ノ儘ニナッテ居ルト云フコトヲ言ハレタ、誠ニ委員長ハ親切ニ委員會ノ審査ノ内容ヲ語ラレタ、即チ此漁業法案ノ審査特別委員會ニ於テ最モ議論ノアツタハ十六條、即チ「更新スルコトヲ得」トスベキヤ、更新スル「トスベキヤ」是ガ一ツ、ツレカラ二十四條ノ漁業權ノ取消サレタル場合ニ付テハ補償ノ問題 唯今一ツ申落シマシタ議長ノ言ハレタ如ク、二十五條モ從テ私ノ修正案ニ於テハ修正スル、二十四條中テ水產動植物ノ繁殖保護ニ必要ナル場合、又軍事上ニ必要ナル場合、又委員會ノ修正ニ依ッテ水底電線ヲ敷設スル場合、公益上害アルト認ムル場合、私ハ補償ヲ求ムルコトヲ得ト云フ箇條ヲ加フルタメニ公益上害アルト云フ文字ハ二十四條ヨリ削除致シマシテ、二十五條ノ錯誤ニ依リ漁業權ヲ

得場合ニ於テハ之ヲ取消スコトヲ得ト云フ處ヘ、錯誤ニ依ッテ免許ヲ受ケタモノ及公益上害アルモノニ付テハ主務大臣ハ之ヲ取消スコトヲ得、斯様ニ修正スル、ツヒ二十五條ノコトヲ申落シシマシタカテ念ノタメニ申シ置キマス、是ガ唯今自分ノ申シマシタ漁業法案ノ修正箇條ノ要旨デアリマス、何故ニ二十六條ニ付テ折角委員會ガ原案ヲ認メラレタルモノニ付テ論辯ヲ更ニ費シテ之ヲ修正スル必要アリヤト云ハバデス、此度ノ法案ハ多年ノ吾々ノ望ヲ稍達シ得テ居ル、漁業權ヲ物權トシテ土地ニ對スル規定ヲ準用ス、是ハ此新法律ノ第八條ノ規定デアリ、漁業權ナルモノハ三十四年ニ法律ヲナタトコロノ現行漁業法此現行漁業法ナルモノニ依ッテ吾々曾テ此漁業ナルモノヲ研究ヲ致シテ居ル者ガ、初メテ此物權權ノ如キモノトナタカト申シマス、寧ロ此現行法ハ行政官ノ手心ニ依ッテ所謂漁業權ナルモノヲ左右スルガ如キ法律ニナッテ居タリ、若バ郡ト郡トノ問題トナッテ此爭ヲ爲シテ居ルハ何デアルカト云フ、寧ロ行政權ナルモノヲ以テ此慣行ヲ打破シ、長官ガ己ノ意志ノ儘ニ漁業權ノ免許ヲ與ヘ、若ハ之ヲ拒絕シタト云フコトガ重モナル紛擾ノ原因トナタ、茲ニ於テ現行法ノ規定ノ當時ニモ私ハ當議席ニ列席シテ居タ、又委員會ニ出席シタノデアル、其時ヨリ此漁業權ノ確認スベキ理由アルコトハ屢々訴ヘタデアリマス、當時不幸ニシテ其意見ハ徹底シナカッタ、幸ニモ今日此政府ガ改正法律案ヲ出サレテ、第八條ニ依ッテ漁業權ハ物權ナリト云フコトヲ規定セラレタノハ、最モ喜ブトコロデアル、然ルニ此十六條ナルモノ、存スル間ハ如何ナルコトガ十六條ニ存スルカト言ハバ物權トシテ既ニ賣買譲與ノ外ニ抵當權マデ設定セラル、コトヲ許サレタ、其漁業權ハ十六條アルガタメニ二十箇年以内ト云フコトノ規定ノ中ニ、若ハ長キモ十年、短キハ二年、若ハ五年ニ又之ヲ縮メラレテ、而モ其免許ノ切レル場合ニ於テハ種々ナル運動ガ起リ、種々ナル弊害ガ起キテ折角己ノ財產ト爲ス漁業權ハ此繼續ノタメニ多クノ努力ト、多クノ費用ヲ費サネバナラヌト云フコトニナッテ居ルデアリマス、現ニ資本ノ融通マデモ、此漁業權ニ與ヘテ水産ノ發達ヲ期セバナラヌト云フコトガ此法案ノ趣意ナリトスレバ、成ルベク此場合ニ於テ漁業權ヲ完全ナル一ツノ私權トナスト云フコトガ、即チ此法案ノ目的トスルコトデアナケレバナラヌデアリマス、然ルニ二十六條ノ本文ニ於テハハリ依然二十年以内ニ於テ之ヲ免許スルコト云フコトニナッテ居ル、併シ但書ガアッテ漁業權者ノ申請ニ依ッテハ之ヲ更新スルコトヲ得ト、舊法ニモ此ノ如キ箇條アリ、更新スルコトヲ得ルデアルカラ行政官ノ手心ニ依ッテハ之ヲ更新セザルコトモ出來ルデアル、政府ハ此法案ノ改正ニ付テハ非常ニ迷惑ヲシテ特別委員會ニ修正シタモノニ關シテモ種々ニ苦情ヲ唱ヘラレテ居ルデアリマス、併シ此事ニ付テ頗ル私ハ政府ノ意志ノアルトコロヲ疑フハ、成ルベク慣行ヲ許可シテ此法文ノ但書ナルモノハ或ル萬一ノ場合ニ適用スルノミデアルト云フコトヲ政府ハ言ウテ居ル、併シ左様ニ政府ガ此舊來與ヘタトコロノ漁業權ニ重キヲ措キ、且國家ガ漁業權ヲ所有スル者ニ付テ重キヲ措イテ之ヲ尊重セラル、ナラバ、何ガ殊更ニ此ノ如キ手心ヲ用井ルガタメニ此法條ヲ置クト云フ必要ヲ見ナイノデアル、且政府ノ云フコトコトニ付テ頗ル私ハ誠意アルヤ否ヤト云フコトヲ疑フテ居ルハ、此ノ如キ答辯ヲシテ居ル、二十四條ニ依ッテ取消シ得ベキ範圍ノ外ニ於テ或レ埋立事業ノタメ、或ハ他ノ公益トナルベキ、即チ築港等ノ場合ニ於テハ政府ハ之ニ補償ヲ命ズルノデ、併シ此ノ如キ事實ノ現ハレントスルコトノ豫メ知リ得テ場合ニ於テハ十六條ニ依ッテ其許可ノ年限ヲ縮メ置イテ、免許ノ年限ヲ縮メ置イテ、而シテ後二十四條ノ場合ニ補償ヲ與ヘナイコトヲ得ルヤウナコトニモナルデアラウト云フガ如キ意味ヲ表白サレテ居ルデアル、一方ニ於テハ漁業權ヲ尊重スルコト言ヒナガラ、他方ニ於テハ或ル場合ニ於テハ縮メ

ラレテ、漁業權ノ自然消滅ヲ爲サシムルト云フガ如キ箇條ヲ存スルハ頗ル不親切ナル私ハ政府ノ意志ナリト私ハ思フデアリマス、夫故ニ寧ロ特別委員會ニ於テ御審査ニナリ、且其成案トシテ修正ニナタトコロノ「更新ス」トハハキリ此文章ニ於テ之ヲ認メテ置キタイト私ハ思フデアアル、是ガ即チ十六條ノ修正ヲ爲シタル所以デアリマス、ナスベント主張スル所以デアリマス、ソレカラ二十四條デアリマス、此二十四條ハ諸君ノ御承知ノ如ク水產動物ノ蕃殖保護ニ必要ナル場合ニハ取消スコトガ出來ル軍事上ニ於テ必要ナル場合ニハ取消スコトガ出來ル、水底電線ノ敷設ニ付テ必要ナル場合ニハ取消スコトガ出來ル、公益上必要ナル場合ニハ取消スコトガ出來ル、斯様ニナッテ居ル、併シ一度物權トナタ以上ハ縱令水底電線デアラウガ、軍事上デアラウガ、水產動物ノ蕃殖保護デアラウガ、其外船舶ノ航行、若ハ礙繫ニ必要ナル場合ニ於テモ是ハ補償ヲ與ヘズシテ取消スコトハ頗ル亂暴ナ法令ト言ハナケレバナラヌ、現ニ漁業權ノ中デ最モ權利ノ確認セラレテ居ルモノハ何デアルカト云フ、彼ノ區劃漁業デアアル、此區劃漁業ナルモノハ此陸地ノ權利ト同視セラレテ居ル、法律アルガタメニ重シラ、ニアラスシテ、慣行ノ上カラ殆ド陸地ト同様ナ最モ確カナル財產トシテ賣買譲與渡モ出來テ居タ、併シ是ガ現行法律ガ行ハレテ以來ニアラスシテ古クハ三百年、若ハ二百年前ヨリ或ハ慣行ニ依ッテ、或ハ裁許狀ニ依ッテ己ノ權利ノ確認トナシ、若ハ口碑ニ依ッテ自ラ其部落ノ人ガ得テ居ルト云フ、如キ最モ古キ歴史ヲ有スルノデ、斯様ナ大切ナル權利モ此二十四條ニ依ッテハ即チ取消サレルト云フコトニナッテ居ル、苟モ斯ハドウデアルカト云フ、縱令砲臺ノ建築デアッテモ、又鐵道ノ敷設デアッテモ、獨リ漁業權ナルモノガ二十四條ノ場合ニ於テ補償ヲ與ヘズシテ之ヲ取消スコト云フコトハ、即チ第八條ニ依ッテ之ヲ物權ト看做シタトコロノ精神ニ背反シテ居ル、故ニ此二十四條ノ「公益上害アル」ト云フ文字ヲ除イテ、其他ノ場合ニ於テ取消サル、トキハ補償ヲ與ヘルト云フ修正動議ヲ此處ニ於テ提出スルデアリマス、其代リ公益ニ害アルト云フトキニ於テモ尚補償ヲ與ヘルト云フコトハ穩ナラヌト云フコト、二十五條ノ錯誤ニ依ッテ取消スコト云フコトヘ公益上害アルト云フ場合ニモ之ヲ取消スコト云フ、無價ニシテ取消スコト云フコトヲ加ヘンガタメニ二十四條ノ修正ヲ爲スデアリマス、ソレカラ第三十五條ノ汽船「トロー」及汽船捕鯨業ニ對シテノ修正ノ必要ハ何デアルカト云フ、先刻加瀬禮逸君ガ長ク質問ヲナサレテ、政府ノ答辯ヲ求メラレタガ、頗ル政府ノ答辯ハ要領ヲ得ナイ、一體申シマスルト此汽船「トロー」業ト云フモノハ近來我國ニ初メテ行ハレタノデアルガ、是ハ沿岸漁業ト兩立シナイ、政府ハ沿岸漁業ヲ妨ゲナイ、決シテ沿岸漁業ヲ妨ゲナイト云ハル、ガ、實ヲ申シマスレバ沿岸漁業ナル所ニ行ッテ此「トロー」業ヲスルノデアル、一度汽船「トロー」ノ通過シタ所ハ殆ド海底ノ藻屑サヘモナクナッテシマフ、魚ノ道ヲ塞グノミナラズ、其床マデモナクシマフデアルカラ、是ニ於テ沿岸漁業者ハ幾ド部落ヲ墾テ生活ノ途ヲ失フト云フ慘狀ヲ來スデアリマス、之ニ付テ屢々委員會ニ於テ質問ヲシタノデアルガ、唯百尋以外ノ所ニ於テ此主旨ニ於テ既ニ制限ヲ設ケタルカラ、之ニ於テ十分ナリト云ハレタ、丁度加瀬禮逸君ガ適用サレタ千葉縣ノ實例ハドウデアル、犬吠岬ヨリ八幡崎マデ直ニ見通シ海上郡高神村ト云フ陸地ヲ線ガ横切ル、マルテ沿岸トコロデアリ、畑ノ中マデ禁止區域ニナッテ居ルト云フ亂暴ナ禁止ヲナシテ居ル、又犬吠岬カラ金華山マデ間ハ陸地ヲ離レル僅カ一里位シカノ距離ガナイ、是デハ折角農商務大臣ノ制限區域ハ何等ノ用ヲナサヌ、是ニ於テ私ハ是非共陸上ヲ離レル二十海里以内ノ地ニ於テ汽船「トロー」、若バ汽船捕鯨業ヲ營業場合ハ農商務大臣ハ其漁業ヲ許可スル、斯ウ云フコトヲ法文ノ上ニ明記シテ置キタイト思

フ、併シス様ニ申シマスレバ二十海里以外ノ處デモ尙汽船「トロール」ヲサレテ困ルト云フ場所ガアルト云ハレハコトヲ云フカモ知レマセヌガ、併シツレハ三十五條ノ第二項ニ農商務大臣ハ制限、若ハ禁止ヲスルコトヲ得ト云フ箇條ガ存シテ居ル以上ハ決シテ差支ナイ、一方ニ於テ二十海里ノ制限ニ於テ之ヲ矯正シ、一方ニ置イテハ制限禁止ヲ農商務大臣ニ許シタ権内ニ於テ之ヲ取締ルト云フコトニナリマシタ以上ハ、汽船「トロール」ノ害ハ先ツ無イト云フコトヲ言ヒ得ルデアラウト思フ、此ノ如クセザレバ決シテ沿岸漁業ノ現在ハ維持スルコトガ出来ナイ、私ハ最後ニ一言セバナラヌハ此漁業ハ頗ル重大ナル法律案デアアル、日本國ノ狀態ノ上ヨリ觀察シマスレバ農業ハ最も主ナル一ノ勳デアアル、之ニ亞テ勳ハ何デアアルカ、工デアアルカ、商デアアルカト云ヘバ、農ニ亞テコロノ國民ノ生業ハ即チ漁業デアアルト云フコトヲ言ヒ得ル、我國ノ人口少ナクモ五分ノ一ハ海岸ニ住居シテ居ル、海ヨリ開ケテ山ニ及ビ、漁業ノ盛衰ハ直ニ一國ノ人ノ生活ノ上ニ反響ガアル、之ヲ以テ職トシ、之ヲ以テ業トスル者デアアルカ、其事業ノ盛衰如何ニ依ツテハ我國ノ全體ノ人ノ生活ノ上ニ反響ガアルト云フ大問題デアアル、サウスレバ此漁權ナルモノハ最も大切ナルモノデアッデ、即チ沿岸漁權ナルモノハツレノ今日何レモ確定シテ居ル、然ルニ漁業法設定後ニ於テ政府ハ行政權ニ依ツテ地方長官ニ取捨ヲ任カシタメ種々ナリ騷動ヲ惹起シタデアアル、幸ニ此法案ニ依ツテ漁業權ヲ確定シテ漁業權ヲ確ムルニ於テハ、將來斯ル問題ニ紛議ノナカラント希望スルガ故ニ、殊ニ此場合ニ修正意見ヲ提出スル所以デアリマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本問題ニ付キマシテ此場合一言致シテ置キタイト存シマス、委員會等ニ於テ種々御意見見ゴザイマシタカラ、此期間更新ノ問題ニ付テ一言致シタイト思ヒマス、確實ナル慣行ニ依ツテ設定シタル漁業權者ヨリ期間更新ノ申請ノアツタ場合ニハ之ニ免許ヲ與ヘルト云フ考デゴザイマスルカラツレケラ茲ニ聲明シテ置キマス

○議長(長谷場純孝君) 大浦農商務大臣

漁業ノコト、モウ一ツハ高木君ハ報償ノコトデアリマスガ、或ハ水産動植物蕃殖、船舶航行、其他公益上、或ハ國防ト云フコトニ付テ若シ彼ノ免許ヲシタルトコロノ漁業權ヲ或ハ停止、或ハ禁止シタル場合ニ於テ之ヲ補償スルト云フコトヲ一項設ケタイト云フノガ高木君ノ御主意デアリマシタ、一應御尤モノヤウニ聞エマスガ、是ハ極ク精密ニ委員會及特別委員會ニ於テ調査シタ時分ニモ政府ハ勿論補償スベキモノデアルト云フコトヲ言明シテ居リマスノミナラズ、又補償スルノガ當リ前デアリマスカラ、此法文ニ蛇足ヲ加ヘテ補償スルト云フコトヲ書ク必要ハナイデアリマスカラ、是モ遺憾ナカラ修正スル必要ナシト明言致シテ置キマス、今一ツ「トロール」ニ付テハ加瀬君ハ先刻長々ト質問ガアリマシタ、是ハ沿岸漁業ト「トロール」漁業ト相一致セザルモノデ區域ハ嚴重ニセザレバ決シテ成立スルモノデアリマセヌト云フ此點ハ加瀬君ノ質問ニ贊成デアリマスガ、若シ農商務省カラ決定セラレタ限定區域ヲ嚴重ニ守ルコトガ出来マシレバ、敢テ「トロール」漁業ト沿岸漁業ト衝突スルコトハ無イデアリマス、然ルニ今日マデ一方ハ汽船デアリマスカラ非常ニ速力ノアル船ヲ以テ或ハ禁漁權ヲ侵シ、一方ハ艀權ヲ持シテ居ル漁民デアリマスカラ、往々禁漁ノ區劃ヲ侵シテ衝突シタル場合ガナキニシモアラズデゴザイマスガ、是ハツマリ罰ガ輕イカラ縱令侵シテ萬一相當ノ罰ヲ受ケテモ其罰ナルモノ非常ニ輕イカラ、之ヲ侵スト云フコトニナルデアルト思フデアリマス、ツレデ政府ノ案ハ捕鯨業「トロール」漁トモ二千萬以下ノ罰金ヲ科スルト云フコトニナツテ居リマシタノヲ、之ヲ修正シマシテ「トロール」漁業ト違反者ハ五千萬以下ノ處分ニ處スルト云フコトニシテ置キマシタカラ、是デ「トロール」漁業ト沿岸漁業ト衝突ハ十分ニ除ケルト吾々ハ信ズルデアリマス、故ニ委員長ノ報告告シタ修正案ニ贊成ヲ致シ、直ニ諸君ノ御贊成ヲ得テ本案ヲ確定シタイト思ヒマス

○伊藤大八君 本案ニ付テハ討論モ既ニ盡キタト思ヒマスカラ、委員長ノ報告通り確定センコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○伊藤大八君 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 伊藤大八君ノ動議ハ即チ三讀會ヲ省略シ、二讀會ヲ以テ委員長ノ報告通り確定スルト云フ動議デゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ニ付テハ、高木正年君カラ定規ノ贊成ヲ得テ茲ニ修正案ヲ提出シデアリマスカラシテ、之ニ付テ先ツ採決致シマス、二讀會ハ逐條採決スベキ答デアリマスケレドモ、議案全部ヲ議題ニ供シ、即チ關稅法案、營業稅法案ノ例ニ依リマシテ、修正ノアルダケノモノヲ先ツ採決ヲ致シテ、後トハ委員長ノ報告全部ニ付テ採決シヤウト思ヒマス、ツレデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 讀會省略デスカ

○議長(長谷場純孝君) 少數、他ハ全部委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 是テ全部委員長ノ報告通り決シマス、即チ三讀會ハ省略
サレマシタカラ、本案ハ是ニテ確定致シマス、(拍手起ル)日程第四、北海道土功組合
法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長菅原傳君

第四 北海道土功組合法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○菅原傳君 簡單デアリマスカラ當席ヨリ報告致シマス、北海道土功組合法中改正
法律案、此組合ニ關スル現行ノ法律ハ十一箇條ヨリ成立ッテ居リマス、而シテ今回政
府ノ提出シタコトモノハ第一條、第三條、第五條、第六條ノ四箇條ニ改正ヲ加ヘ
タノデアリマス、委員會ハ審査ノ結果、組合ノ信用ヲ高ムル點ニ於テ、又組合ノ基礎ヲ
鞏固ニスル上ヨリシテ此改正ノ必要ヲ認メタノデアリマス、是マデノ組合法ニ依リマスレ
バ組合ニ加入スル場合ニ於テモ、亦組合ヲ去ル場合ニ於テモ、殆ド隨意ノ有様デアッタ
ノデアリマス、爲ニ組合ガ事業ノ進行中ニ或ハ頓挫ヲ來ス等ノ憂モアツタノデアリマスガ、
今回ノ改正案ニ依リマスレバ組合ハ一定ノ地區ヲ定メ、一旦組合ニ加入シタ以上ハ
漫リニ去ルコトハ出來ヌノデアリ、義務ヲ終ラシテ去ルコトハ出來ヌノデアリ、若シ他ノ
人ニ譲渡シ、或ハ賣拂フ等ノ場合ニ於テ、其繼續者ガ義務ヲ果サナケレバナラヌト云フ
ヤウナ譯合デ、總テ加入ノ場合、去ル場合等ノ點ニ付テ餘程嚴密ニ改正ヲ加ヘタノデ
アリマス、又組合ノ經費ニ關シテモ、經費徵收ノ點ニ付キマシテモ町村稅ノ制ニナリ、此
町村稅ニ次ギテ先取權ヲ與ヘタノデアリマシテ、此費用等ニ付テモ餘程嚴密ニシ、改
良ヲ加ヘタノデアリマス、要スルニ北海道ノ拓殖上實際ニ於テ是等ノ改正ガ必要ト
認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定ニ至ランコトヲ望ミマ
ス、委員長ノ報告通り確定センコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 唯今伊藤大八君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、即チ本案ハ三讀會ヲ省略シ、
直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

北海道土功組合法中改正法律案 確定議

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、本案ハ委員長ノ報告通り確定
致シマス、日程第五、那覇港修築工事ヲ沖繩縣ニ引繼グ事ニ關スル法律案ノ一
讀會ノ續ヲ開キマス、委員長辻川與一右衛門君

第五 那覇港修築工事ヲ沖繩縣ニ引繼グ事ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○辻川與一右衛門君 簡易ナ議案デスカラ自席カラ申シマス、本案ハ那覇港修築工
事ヲ沖繩縣ニ引繼グ事ニ關スル法律案デ、四箇條ヲ成立ッテ居リマス、委員會ハ政府ノ取
調ヲ聞キマス、沖繩縣ニ府縣制ヲ本年四月ニ布クト云フコトデ、之ヲ引繼グ
コトヲ望ミマス、委員會ハ本案ハ適當グト云フコトデ全會一致ヲ以テ本案ヲ

可決スルコトニ致シマシタ

○伊藤大八君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り確定
セランコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 伊藤君ノ動議、本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シ
テ委員長ノ報告通り確定シタイト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナシト認メマスカラ其通り決シマス、直ニ二讀會ヲ
開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

那覇港修築工事ヲ沖繩縣ニ引繼グ事ニ關スル法律案 確定議

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ委員長ノ報告通り決シマス、本
案ハ是ニテ確定致シマス、日程第六、土地收用法中改正法律案、安東敏之君外二
名提出、第一讀會、是ハ提出者カラ延期ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマ
セヌカ

○吉植庄一郎君 サウ度々延期スルノハドウ云フ譯デスカ、此前モ延期ヲシ、又今日
モ延期スルノハドウ云フ譯デス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ延期スルコトニ決シマス、理由ハ提出者ガ
述べマセヌ、日程第七乃至第八ノ議案ハ同一議案ニシテ、提出者モ同一ナルニ
依ッデ、一括シテ議題ニ供シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

第七 官吏恩給法中改正法律案(武藤金吉君外一名 第二讀會提出)

第八 軍人恩給法中改正法律案(武藤金吉君外一名 第一讀會提出)

官吏恩給法中改正法律案

第十六條中「二個年內」ヲ「七個年內」ニ改ム

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍人恩給法中改正法律案

第二十六條中「三個年內」ヲ「七個年內」ニ改ム

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○伊藤大八君 本案ハ提出者モ見エマセヌシ、極メテ簡單ナ案ノヤウニ心得マスカラ、
委員付託ト云フコトニ致シタイ、サウシテ委員ハ議長指名ニシテ九名ノ委員ニ付託セン
コトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第七及第八ノ議案ハ、一括シテ議長指名九名ノ委

員ニ付託ト云フコトニ御異議ナシト呼フ者アリ

(異議ナシ御異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 日程第九行政執行法中改正法律案ハ、委員長ノ都合ニ依リ一旦延期シテ與レト云フ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ御異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、許可スルコトニ致シマス、日程第十水産講習所分場設置ニ關スル建議案、提出者吉田虎之助君外一名 吉田虎之助君

第十 水産講習所分場設置ニ關スル建議案(吉田虎之助君外一名提出)

農商務省直轄ノ水産講習所ハ汎ク水産事業ヲ扶掖誘導スルノ機關トシテ設置セラレタルモノニ外ナラサルヘシト雖其ノ主トシテ講究スル所ハ鹹水產物ニ係リ淡水產物ニ在テハ僅ニ其ノ附屬トシテ科目ヲ設ルニ過キス是レ其ノ目ノ對シテ甚缺クル所アリ依テ政府ハ宜シク適當ノ地ヲ擇ヒテ水産講習所ノ分場ヲ設ケ以テ淡水產物講究ノ道ヲ開キ汎ク水産事業ヲ扶掖誘導スルノ旨趣ニ副ハシムヘシ

(吉田虎之助君登壇)

(拍手起ル)

○吉田虎之助君 諸君、提出者トシテ簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベマス、唯今政府ニ於キマシテ此水産事業ヲ獎勵シ、或ハ試験シテ居リマスルモノハ、獨リ水産講習所ノミデアリマス、此水産講習所アルノミデアリマスガ、其水産講習所ニ於キマシテ居ルトコロノ仕事ハ多ク、鹹水產ニ屬スルモノデ、淡水產ニ屬スル試験ハ遺憾ナル點ガ澤山アルノデアリマス、私ハ此點ニ付キマシテ更ニ淡水產ニ於ケル講習所ヲ設ケテ、十分ニ淡水產ノ獎勵ガ致シテ實ヒタイト云フ意志ニ外ナラヌノデアリマスガ、其理由ヲ極ク簡單ニ申上ゲマス、御承知ノ如ク本邦ハ雨量ノ多ク處デアリマス、隨テ湖水トカ池沼河川ナド此淡水產ニ屬スル水面ガ非常ニ澤山アルノデアリマス、全國ノ官有地ト民有地ト併セマスレバ、八十餘万町歩ノ水面ガアル、而シテ此八十餘万町歩ノ水面ニ於テ、唯今捕レテ居ルトコロノ魚族ノ統計ヲ見マスルニ、僅ニ二百四十万圓シカナイノデアリマス、之ヲ其町歩ニ割當テ、見マスレバ、一段歩四十錢ノ收益ニナツテ居ルノデアリマス、何ガタメニ是ダケノ水面ヲ有シテ、是ダケシカ收益ガナイカト云フト、其獎勵法ノ不備其試驗ナドノ行居カヌタメデアリマス、斯ク水面ト收穫トノ比較ノ甚シイヲ挽回シ、國家ノためニ其收益ヲ増進スルコトニ付キマシテハ、ドウシテモ此水産講習所ノ必要ヲ認メルノデアリマス、第一ニ此淡水產ニ於キマシテモ清水ニ棲息スル魚ト、ツレカラ池沼ノ濁水ニ棲息スル魚トノ二ツニ區別シナケレバナラヌ、第一ノ清水ニ棲息スル魚ト申シマスレバ、鮭、鱒デアリマスガ、此鮭、鱒ハ御承知ノ通り、日本海カラ東北方面、北海道ナドノ海面ト共通スルコトノ河川ニ捕レルモノデアリマス、其收穫高ハ農商務省ノ統計ニ依レバ、百二十万圓程ニナツテ居リマスガ、是ハ年々歳々減スル傾ヲ見セテ居ルノデアリ、隨テ是等ノ各府縣ニ於キマシテモ、是等ノ蕃殖方法ヲ大ニ講シテ居リマス、或ハ孵化場ヲ設ケ、或ハ試験所ヲ設ケ、其箇處ハ數十箇處ニ達シマシテ、其放流シテ居ル數ハ一昨年末ニ於テ七十八万尾ヲ放流シテ居リマス、併ナ

(拍手起ル)

ガラ此試験ト云フモノハ極ク粗漏ナモノデアリマシテ、農商務省デ十分ニ試験ガ出來テ居ラヌノデアリマス、唯鮭、鱒ハ還元性ヲ持テ居ルト云フノデ、放流シテ居ルニ過ギヌノデアリマス、此鮭、鱒ハ折角數十箇處ノ試験所ヲ持テ各府縣デ放流シテ居ルモノ、其還元性ノ度合、又其生長ノ模様、又生長ニ應ズル其鮭、鱒ノ分布區域ナドト云フ試験ハ一モ出來テ居ラヌノデアリマス、今ニコレガ確ニナツテ居ラヌノデアリマス、ツレバ農商務省ハ四十二年度ニ於テ、滋賀縣ノ水産試験所ニ委託シ、僅カノ補助ヲ以テ是ガ試験ニ掛ツテ居リマスルナレドモ、二百圓ヲヨコラノ補助ノ下ニ此大試験ヲ行フコトハ到底出來ヌ仕事デアアルノデアリ、其還元性ノ生長度合、分布區域ナドガ分ラズシテ、無暗ニ放流シテ居ルト云フコトハ、實ニ残念至極ナ話デアリ、是等ノ試験モ至極必要デアリマス、又第二ニハ此海面ニ共通セザル湖トカ、沼トカ云フ一區域ニ養成スル鮭、鱒、鰻ナドノ魚族デアリマス、是等ハ今日ノトコロデハ其養殖方法ガ一向獎勵ニナツテ居リマセヌノデ、折角澤山ノ水面ヲ有シナガラ、唯今農商務省ノ統計ニ依リマシテモ、二百二十万圓シカ收穫ガナイノデアリ、此コトニ付キマシテ其養殖方法、收穫ナドノ數字ニ互ル細カキコトハ、此案ガ通過シマシタ場合ニ委員會ニ讓ルト致シマシテモ、概略申シマスレバ此池沼デ魚族ヲ養成スル收穫高ハ、深川デヤツテ居ルノデモ一段歩三百圓程ノ收入ヲ得テ居ル、是ハ設備ガ最モ完全ニ出來テ居リマスルモノデ、斯ウ云フモノハ比較ニナリマセヌガ、假ニ池沼ヲ池沼ニ養成スルニシマシテモ、一段歩五十圓ノ收穫ハ確カナルモノデアリマス、一段歩五十圓ノ收穫アリトスレバ、其數ハ唯今民有地ニ屬シテ居ル水面七万五千町歩ニ於キマシテモ、三千萬圓以上ノ收穫ガナケレバナラヌノデアリマスツレバ僅ニ二百二十萬圓ノ收穫ニ止ツテ居ルノデアリマス、是レ其養殖方法ノ獎勵ノ不行居ナタメデアアルノデアリマス、又此海面ト隔離シテ居ル池沼ニ於テモ、清水ニ屬スルモノガアル、山間ノ池ナドノ下カラ水ノ湧ク、極ク清水ナモノガアリマス、是ニ向テ唯今農商務省ハ鱒ヲ養殖ヲ獎勵シテ居リマスケレドモ、是ハ養殖ヲ獎勵スルノミデアツテ其苗魚ヲ支給スル途ガナイノデアリマス、故ニ滋賀縣ノ水産講習所カラ申込ガアリマスルシ各府縣カラモ其苗魚ノ申込ガアリマスケレドモ、残念ナガラ滋賀縣デハ自分ノ方使フダケシカ經費ヲ以テ養成ヲ致シテ居リマセヌ、總テ拒絕シテ居ル有様デアリマス、是等ノ需ニ應ジテ是等ノ池ヲ遊バセテ置カヌヤウニ致シマシタラバ、本邦ノ收益ト云フモノハ非常ナルモノデアアルノデアリ、又近頃河川ノ改修、或ハ水力電氣ナドガ非常ニ勃興致シマシテ、所ニ依ツテハ河川ノ堰堤或ハ洗堰ヲ設ケ、魚族ノ溯上ヲ妨ゲテ居ル處ガ澤山アルノデアリ、之ニ對シテハ西洋各國デハ魚梯ノ設ケソレノ出來テ居ルノデアリ、然レ日本ニハ未ダ魚梯ト云フモノハ全國一箇所モナイノデアリマス、聞クトコロニ依レバ本年ハ農商務省ヨリ水産講習所ノ費用トシテ模範魚梯ヲ置ク案ガ出ササデアリマスガ、大藏省ノ方デ否決セラレタト云フコトヲ聞及ヒマス、實ニ残念ナ話デアリ、是等ハ此淡水魚族ノ蕃殖ニ付テ最モ重要ナ事項デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ講習所ヲ設ケ其技術ヲ養ヒ、一方ニ試験ト養魚トヲ致シマシテ、主要ノ魚梯ヲ多ク各府縣ニ供給シテ、ドノ池モ遊バサヌコトニ致シマシタラバ、本邦ノ一大富源デアルト思フノデアリマス、是レ本案ヲ提出致シマシタ理由デアリマス

(拍手起ル)

○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名九名ノ委員付託ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ御異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ其通り決シマス——日程第十一、史談會國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題トシ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者尾崎行雄君外五名——小久保喜七君

第十一 史談會國庫補助ニ關スル建議案(尾崎行雄君外五名提出)

史談會ニ對シ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

(小久保喜七君登壇)

○小久保喜七君 極ク簡單ニ提出ノ理由ヲ申上ゲマスカラ、是ハ御承知ノ通り此史談會ハ明治二十二年ニ——ツレマデニ勤王諸家ノ追賞、其他ノコトハ認メテ居ルガマデ非常ニ殘デ居ル——事蹟ノ明カニテ居ラスモ、殘デ居ルカラ、之ヲ能ク取調ベテ國家ハ十分ニ追賞、其他ノ方法ヲ講スルガ宜イ、斯ウ云フ考ヲ以テマシテ明治二十二年ノ始メニ此會ガ立チマシタ、ツレカラ此會ハ伊達、東久世ノ會長ヲ經テ今日ハ大原伯爵ガ會長ニ相成テ居ルノデゴザイマス、サウシテ其間ニドウ云フコトヲヤカト云フト、初メ天保年中カラ明治四年マデノ勤王家ノ事蹟ヲ調ベタ、ツレカラ段々調査スレバ此國家ノメニ死シタコト云フコトハ所謂勤王家ハカリデハナイ、段々調べテ見レバ憲法創始時代ニ在テ國事犯ノ事蹟ヲ調ベナケレバナラヌコト云フコト、更ニ調査を進メテ今度天保年間ヨリ明治二十二年マデニ國事死シタ人ノ調査ヲ致シマシタ、其調査ヲ致シマシタ人名ガ最早今日ハ一万以上ニ達シテ居ル、其事蹟ヲ調べマシタノハ其四分ノ一位シカマデナイデゴザイマス、所テ其功績ガドウアツタコト云フト、此史談會ノ申告ノ結果デ丁度百九十名正五位以上正二位以下ヲ追贈セラレタデゴザイマス、假ニ茲ニ諸君——衆議院ガ唯一ノ人デモ此ハ正五位ヲ追贈シテ呉レト云フ建議ヲ致シマシタモ、ナカ——政府ハ私ハ容レマイト思フ、然ルニ史談會ノ申告ノ結果デ百九十名ノ追贈セラレタ、其中生キテ位ヲ受ケタモノハ三四名デゴザイマス、楠本正隆君ニ男爵ヲ授ケラレタ如キハ、全ク史談會ノ調査ガ主ナル原因ト相成テ居ルノデゴザイマス、此ノ如ク史談會ト云フモノハ實ニ功勞ガアツタモノデゴザイマスガ故ニ、貴族院デモ二回國庫補助ノ建議ガ通過シテ居ル、又本院モ第八、第九、第十、第十四回ニ國庫ヨリ補助ヲ與フベキコト云フノ建議案ガ通過シテ居リマスガ、イツデモ政府ハ委員會デハ餘リ反對シナイニモ拘ハラズ、今日マデ何ノ提案モナイノデゴザイマス、或人ハ云フデゴザイマス、是ハ史談會ガ憲法創始時代ノ國事犯デモ殉難者トシテ調査スルコト云フノデ、政府ガ嫌フデナイカト云フ疑念ヲ懷クモノデゴザイマスガ、マサカ私ハ左様ナコトハナイト考ヘル、唯日露戰爭ノ前後國費多端ノ際ニ、此點ニ向テ考慮スルコトガ出來ナカッタト考ヘマスガ、今日ハ全ク天下モ靜平ニ屬シテ、上下舉ゲテ文政ノコトニ從ハナケレバナラヌコトデアリマス、ノミナラズ是等ノコトニ付テハ常ニ御考慮ヲ御用井ニナル文部大臣デゴザイマスレバ、無論政府ハ御同意ノコト、考ヘマスガ故ニ、願クハ諸君モ滿場一致ヲ以テ御贊成アラント希望致シマス(拍手起ル)

○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セシメタルニ付、拍手起ル

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セシメタルニ付、御異議ナシト認メマスカラ其通り決シマス、日程第十二、豫算編成方改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長早川龍介君

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ其通り決シマス、日程第十二、豫算編成方改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長早川龍介君

○議長(長谷場純孝君) 理事豫算寄鉄五郎君

第十二 豫算編成方改正ニ關スル建議案(田川大 吉郎君提出)

○漢寄鉄五郎君 當席カラチヨット報告致シマス、此田川大吉郎君提出ノ豫算編成方改正ニ關スル建議案ハ二回ノ會ヲ開キマシタ、建議者及此内容ニ關係致シテ居リマスル所屬當局カラモ種々説明ヲ聞キマシタ結果、此五箇條アリマスル中デ多クハ直接ニ豫算編成ニ關係ナキコト、又多少豫算編成ニ關係シテ居リマス、敢テ改正スルノ必要ヲ認メナイト云フ理由ヲ以テマシタ、是ハ否決ニナツテ居リマス、此段御報告致シマス

○伊藤大八君 本案ハ委員長報告通り否決セシメタルニ付、望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガアリマスカ——御異議ハナイト認メマスカラ委員長報告通り、本案ハ否決ニナリマシタ——日程第十二、區裁判所ノ事務開始ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長吉植庄一郎君

第十三 區裁判所事務開始ニ關スル建議案(稻村 辰次郎君外一名提出)

○吉植庄一郎君 此席カラ報告致シマス、極メテ簡單ナ案デアリマシテ、政府モ贊成致シテ居リマス、委員會ハ滿場一致ヲ以テ此建議ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○伊藤大八君 唯今委員長ノ報告通り滿場一致ヲ以テ可決セシメタルニ付、望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ御異議ハナイト認メマスカラ滿場一致ヲ以テ可決致シマス——日程第十四、文官任用令中改正ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——委員長小川平吉君

第十四 文官任用令中改正ニ關スル建議案(小川 平吉君提出)

(小川平吉君登壇)

○小川平吉君 極メテ簡單ニ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ曩ニ提出者ヨリ本議場ニ於テ述ベマシタルガ如ク、明治三十二年制定ノ文官任用令ヲ改正シテ其勅任官ニ關スル資格ノ制限ヲ撤去シヤウト云フコトヲ建議案デゴザイマス、其理由ハ既ニ曩ニ提出者ヨリ述ベマシタル通りデアリマシテ、此行政官吏ノ中デモ最も高等ノ位置ニ居ルコトヲ勅任官ニ對シテ是ガ採用ノ方法ヲ必ズ試驗ノ方法ニ依ラシムルト云フコトハ、況ク人オラ天下ニ求ムルト云フコトヲ政治ノ原則ニ反對シタコトヲ不都合ナル規定ナル、且又其不都合ナル規定ノメニ今日マデノ實際ノ有様ヲ見ルト云フコト各省ノ官吏ハ何レノ省ヘ行キマシテモ淘汰競争ノ美風ガナクナリマシテ、各省トモ割據比周ノ弊ヲ生シテ、此國運ノ興隆ニ伴フテ革新ノ實ヲ舉グルコトガ出來ナイ、依ッテ此窮屈ナル制限ヲ撤去シテ、況ク人オラ採用スル門戸ヲ開キタイト云フ趣意デゴザイマシテ、今茲ニ重ネテ私ガ述べタル必要ハ無イト考ヘマス、委員會ニ於キマシテハ、各員トモ此案ニ付キマシテハ少シモ反對ノ意見ハゴザイマセヌ、總テ此案ノ

趣意ニハ賛成セラレマシテ、此案ニ付キマシテハ可否ノ討論ヲスルト云フコトハ毫モゴザイ
マセナシ、唯各員ニ於キマシテ、何故ニ政府ガ此明白ニシテ疑ナキトコロノ案ニ向テ
賛成ヲ表シナイノデアルカト云フコトガ疑問デゴザイマシタガ故ニ、各種ノ疑問ガ出マシ
テ、各政府委員ニ向テ質問ヲ致シタノデゴザイマス、其中ノ最重要ナルモノ一、三
點ヲ申上ケマスレバ、第一、今日ノ政府ノ現狀ヲ見ルト云フコト、此文官任用令ノ制限
ノアルガタメニ、政府ニ於テ最モ必要ナル人物デアッテ、之ヲシテ其局ニ當ラシメタイト云フ
希望ヲ持ッテ居ル人ガアッテモ、文官任用令ノ制限ノアルガタメニ之ヲ採用スルコトガ出
來ズシテ、誠ニ不都合ナ結果ヲ來シテ居ル、其實例ハ例ヘバ農商務省ニ於ケル山林局
長ノ如キ、或ハ内務省ニ於ケル土木局長ノ如キ、技術家ニシテ而モ尙且事務ニ熟練
シタル人ガアリシテモ、文官任用令ノ規定ノアルガタメニ、高等官試験ヲ經過シタル人デナ
ケレバ之ヲ採用スルコトガ出來ナイ、併ナガラ高等官試験ヲ經過シタル人デナ
必シモ是等ノ官職ニ適當ナル人材ガアルト云フコトガ出來ナイカラシテ、其結果、此土
木局長、若ハ山林局長ノ外ニ、技術官ヲ待遇スルニ於テ一種ノ途ヲ開イテ、ツマリ局
長以外ニ勅任ノ官吏ヲ設ケルト云フヤウナコトニナッテ來テ居ル、此ノ如ク技術官ニシテ
事務ニ練達ナル人ガアッテモ、試験制度ノアルガタメニ之ヲ局長ニ用ユルコトガ出來ナ
イトコロヨリシテ、ツマリ行政ノ事務ガ二途ニ出テ、局長其人ガ成テ技術官ニ仰ギ、行政
ノ途ガ二途ニ出テ、雙方トモ矛盾スル、從テ混雜ガ生ズル、斯様ナ結果ヲ來シテ居ル、
是等ノ點ニ付テハ政府ニ於テモ現ニ不都合ナルコトヲ感ラレテ居ルハナイカ、斯様ナ
質問モ出マシタ、ツレカラモウ一ツノ重要ナル質問ハ、我國ノ國民中ニハ官吏ヲ志望ス
ル者ガ頗ル多イノデアル、然ルニ此官吏任用ノ途ガ試験制度文官任用令ノ結果トシテ、
多クハ帝國大學ニ入學スルヲ以テ最モ便トスル、帝國大學ニ入ルガ最モ便デアラガ故ニ、
青年ノ士ハ爭フテ帝國大學ニ入ラウト圖ッテ居ル、是ガタメニ高等學校ニ於テモ、帝國
大學ニ於テモ非常ニ多ク學生ノ入學志望者ガアル、從テ非常ニ多クノ落第者ヲ出
ス、此落第生ノ方向ニ迷フ者ハ將來ノメ何トカ考慮メケラサナケレバナラヌト云フ
狀況ニナッテ居ル、又大學ヲ卒業シタル者ノ中モ其職ヲ得ズシテ路傍ニ彷徨シテ居ル者
ガ少ナクナイカ、是ハ官吏ヲ採用スル途ガ一筋シカ無イ、而モ其門戸ガ狹イタメニ、此
ノ如ク一方ニ偏シテ、多數ノ青年ノ人ヲシテ途ニ迷ハシムルヤウナ悲慘ナル結果
ヲ呈スルノデアル、之ヲ他ノ方面ニ於テモ官吏任用ノ途ヲ開イタナラバ、必シモ此ノ如ク
一方ニ向テ青年ノ士ガ偏シテ行クト云フ氣遣ヒハナイデハナイカト云フ質問モ出マシタ
ノデアリマス、ツレカラ又此ノ如キ質問モ出マシタ、ツレハ政府ハ現ニ此文官任用令ノア
ルガタメニ、必要ナル役人ノ位置ヲ高メルコトガ出來ズシテ、何時マデモ奏任ニ置ク譯ニ
モ行カズ、サレバト云フテ之ヲ勅任ニ任スルノ途ガ此文官任用令ノタメニ塞ガレテ居ル
カラシテ、一種ノ窮策ヲ案ジテ、現ニ或ル奏任官ノ人ヲ宮内省ヘ持ッテ行ッテ、而シテ宮
内省ノ式部官ニシテ、初メ此式部官ナルモノ、名ニ依ッテ勅任待遇ノ途ヲ開イタト云
フ事實ガ現ニ二入程アル、此ノ如キハ政府自ラガ此文官任用令ノタメニ、極メテ自分
ガ必要ナリト信ズルノ人オニ向テ勅任ト爲スコト能ハズシテ、之ヲ宮内省ノ式部官ナ
ルモノニ藉リテ僅ニ勅任待遇ノ途ヲ開イタト云フコトハ、即チ行政上ニ於テ政府自身
ガ此文官任用令ノ不都合ナルコトヲ認メテ居ル證據ハナイカ、斯様ナ問モ出タノデア
リマス、且又此高等官ノ中モ最モ高位ニ居ルトコロノ、所謂政務官ト稱スル人ノ
如キハ、現ニ何レノ内閣ノ更迭スル場合ニ於テモ、多クハ内閣ト共ニ更迭スル、政略
ニ密接シテ居ル官吏デアラカラ、此官吏ヲ求ムルニハ孰キ試験制度ヲ經テ來タル人ニ限
ト云フコトハ無イ管アル、是ハ必ヤ汎ク天下ニ人オヲ求メナケレバナラヌノデアル、然

ルニ政府ハ試験制度ヲ經テ來タル人ニノミ人オヲ求メナケレバ外ニ仕方ガナイト云フ考デ
アルカ、斯様ナ質問モ出タノデアリマス、要スルニ本案ニ付テハ可決ノ論ハ問題ニナリマ
セヌデ、單ニ政府ニ向テ以上申述べタル如ク、マダ其外ニモ細カイ點ヲ質問ガ出マシタ
ガ、之ニ對シテ政府ニ於テハ殆ド要領ヲ得タルトコロノ答辯ガアリマス、政府ノ答辯ス
ルトコロハ要スルニ今日ノ文官任用令ノ制度ヲ以テ最良ノモノデアルト認ムル譯ハナ
イ、併ナガラ他ニ其法ナキガ故ニ、已ムヲ得ズ此任用令ヲ存スルノデアアル、而シテ本建
議案ニ反對スルノデアアル、此ノ如キ答辯ヲ以テ始終一貫シテ居リマシタノデアリマス、而
シテ最後モ委員ノ或者ヨリ發シマシタル質問ニ、若シ本建議案ノ如ク門戸ヲ開放シ
テ制限ヲ撤去致シテモ、必シモ試験ヲ經ナイトコロノ人間ノミヲ用フ論デハナ
イノデアアル、用非得ル途ヲ開クダケノコトデアアルガ、此人オヲ用非得ル途ヲ開キマシタナラバ、
政府ニ於テハ如何ナル弊害ガアルト認メラル、カ、其弊害ノアルトコロヲ具體的ニ述
ベテ貴ヒタイト云フコトノ問ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ其點ニ向ッテハ御答ヲ致スコト
ガ誠ニ困難デアアル、ドウカ御諒察ヲ願ヒタイト云フヤウナ答辯ニ歸著シタト云フ、甚ダ
怪シカラヌコトノ答辯ガアリマシタノデアリマス、此ノ如クデゴザイマシテ、屢々質問ヲ致シ
マシテモ政府ニ於テハ相當ナル理由ヲ以テ之ニ答フルコトナクシテ、唯徒ニ本案ニ向ッ
テ反對ノ意思ヲ表セラレテ居リマシタノデアリマス、ツレカラ又委員會ニ於テハ、本案ヲ
以テ行政改革ノ根本トナルトコロノ官吏登庸ニ關スル條件デゴザイマシテ、現ニ樞密院ノ
御諮詢マデモ經テ發布セラレタトコロノ勅令ノ改正ニ關スル建議デアリマスカラ、又唯
今述べマス如ク、政府委員ノ答辯ハ結局御答ヲ致シ兼ねルト云フヤウナ不得要領ノ答
辯デゴザイマシタカラ、進シテ總理大臣ノ出席ヲ求メテ其答辯ヲ聽カント欲シタノデアリ
マスガ、總理大臣遂ニ委員會ニ出席セズ、而シテ唯今述べマス如ク不得要領ナル
答辯ヲ以テ本案ハ終リマシタノデアリマス、尙委員會ニ於キマシテハ、ドウカ本案ノ趣旨
ヲ貫徹致シタイト云フコトヲ希望ヨリ致シマシテ、委員會高橋光威君ノ發議ニ依リ本案
ヲ修正致シマシテ、即チ御手許ニアリマス通り「法制局長官、各省次官、警視總監、
警保局長等、政府ノ政略ニ密接ノ關係アル勅任官ノ任用ハ文官任用令ニ據ラサ
ルコトヲ得ルノ規定ヲ設ケムコトヲ望ム」此ノ如ク建議案ノ主意ヲ更ニ一步譲リマシテ、
即チ狹イ範圍ノ建議ト致シマシテ、之ニ依ッテ政府ノ贊成ヲ求メマシタノデアリマスガ、
是亦不幸ニシテ政府ノ容ル、トコロトナリマセヌノデゴザイマシタ、結局委員會ニ於キマシ
テハ此修正ノ意見ニ對シテ、滿場一致ヲ以テ贊成可決ヲ致シタ次第デゴザイマス、此段
御報告ヲ致シマス

○伊藤大八君 本案ハ滿場一致ヲ以テ委員長ノ報告通り可決センコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ滿場一致ヲ以テ委員長ノ報告通り決シマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第十五乃至第二十ノ請願ハ、便宜上一件毎ニ委員
長ノ報告ヲナサシメ、逐次議題トナシ之ヲ採決致シマス、委員長榊田清兵衛君

○議長(長谷場純孝君) 此場合ニ訂正ヲ致シテ置キマス、日程ノ第十六、特別報
告第三號ヲアルノハ印刷ノ際ノ誤植デ、是ハ三十號「十」ノ字ガ落テテ居リマスカ
ラ、此段訂正シテ置キマス、日程第十五、特別報告第二十九號、町村基本金トシテ

國有林野拂下ノ請願

第十五

(特別報告第二十九號)町村基本金トシ

(委員長報告)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ委員長報告通り採擇スルコトニ決定シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 日程第十九、特別報告第三十四號、町村制中改正ノ請願

第十九

(特別報告第三十四號)町村制中改正ノ請願

(委員長報告)

○榊田清兵衛君 御報告ヲ致シマス、此請願ハ兵庫縣保部龍野長中原信之外二十七名ノ請願アリマシテ、其趣旨ハ兵庫縣保部、赤穂郡、栗東郡、此各町村所屬ノ國有林野中ニ於テ、國土保安、又ハ林野經營上ニ必要デナイトコロノ林野ヲ町村ノ基本財産ト致シマシテ、無代、又ハ低廉ナル價ヲ以テ拂下ケテ欲シト云フ請願アリマシマシテ、是ハ請願委員會ニ於キマシテハ、採擇院議ニ付スベキモノト決定ヲ致シマシマシ、此段御報告ヲ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ採擇スルコトニ致シマス、日程第十八、特別報告第三十號、稅務署設置ノ請願

第十六

(特別報告第三十號)稅務署設置ノ請願

(委員長報告)

○榊田清兵衛君 此請願ハ東京府北多摩郡府中町長石阪信次郎外二十四名ノ呈出アリマシマシテ、其要旨ハ北多摩郡府中町稅務署ハ二十七年ノ三月ニ於キマシテ、八王子稅務署ノ所管ニ屬セラレタゴザイマス、爾來關係人民ニ於キマシテハ頗ル不便ヲ感ジテ居リマスノデ、之ヲ復舊シテ欲シト云フ請願アリマシマシ、此請願ハ昨年ニ於キマシマシテ、貴族院、衆議院兩院共ニ採擇ニナツテ居リマス、請願アリマシマシ、故ニ是ハ請願委員會ニ於キマシマシテハ採擇院議ニ付スベキモノト決定致シマシマシ、此段御報告致シマス

(委員長報告通りト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ採擇スルコトニ決シマス、日程第十七、特別報告第三十一號、宮津貿易港、並宮津福知山間鐵道速成ノ請願

第十七

(特別報告第三十一號)宮津貿易港並宮津福知山間鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

○榊田清兵衛君 此請願ハ京都府與謝郡宮津町字住吉三十七番戶平民醫師中川雄齋外七千六百三十八名ノ呈出ニ係ル請願アリマシマシ、此請願ノ要旨ハ宮津貿易港ヲ純然タル貿易港ト爲シテ欲シト云フ請願アリマシマシ、而シテ又モウツノ意味ハ、宮津福知山間凡二十哩、或ハ宮津上川口間凡十六哩ノ鐵道ヲ急設シテ欲シト云フ請願アリマシマシ、請願委員會ハ之ヲ分割致シマシマシ、宮津貿易港ニ關スル請願ハ採擇院議ニ付スベキモノト決定ヲ致シマシマシ、此段御報告ヲ致シマス

(委員長報告通りト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ委員長報告通り採擇スルコトニ決シマス、日程第十八、特別報告第三十二號、市制改正ノ請願

第十八

(特別報告第三十二號)市制改正ノ請願

(委員長報告)

○榊田清兵衛君 此請願ハ大阪府東區北濱二丁目四十番地士族辯護士武内作平外百七十四名ノ呈出アリマシマシ、其願ノ要旨ハ、現行市制ハ二十年前ノ制定デゴザイマシマシ、市會議員ノ選舉、及市行政機關ノ組織等、今日ノ民情ニ適セザルモノガ多イノデアリマス、故ニ之ヲ適當ニ改正シテ欲シト云フ請願アリマシマシ、請願委員會ハ採擇スベキモノト決定ヲ致シマシマシ、此段御報告ヲ致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ委員長報告通り採擇スルコトニ決定シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 日程第十九、特別報告第三十四號、町村制中改正ノ請願

第十九

(特別報告第三十四號)町村制中改正ノ請願

(委員長報告)

○榊田清兵衛君 此請願ハ山形縣最上郡舟形村大字舟形百二十九番地平民農星川小重郎外九名ノ呈出アリマシマシ、而シテ其請願ノ要旨ハ、現行ノ町村制ニ於キマシマシ、議員ノ選舉ハ連記投票トナツテ居リマス、之ヲ單記投票ニ改メラレタイト云フ請願アリマシマシ、請願委員會ハ其趣旨ヲ認メマシマシ、採擇院議ニ付スベキモノト決定ヲ致シマシマシ、此段御報告ヲ致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ委員長報告通り採擇スルコトニ決シマス、日程第二十、特別報告第三十五號、郵便局設置ノ請願

第二十

(特別報告第三十五號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

○榊田清兵衛君 此請願ハ福島縣北會津郡荒井村大字下荒井四十六番地平民農荒井初太郎外四名ノ請願アリマシマシ、其趣旨ハ福島縣北會津郡荒井村ハ若松郵便局ニ屬シテ居ルノデアリマスガ、其距離ハ二里以上モゴイマス、故ニ其一部ノ下荒井村ト云フ場所ヲ除ク外ハ、一日一回ノ集配ヲ受クルニ過ギヌノデアリマス、ソレデ村民ハ頗ル不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、故ニ郵便局ヲ本村内に設置シテ欲シト云フ請願アリマシマシ、是モ請願委員會ハ採擇院議ニ付スベキモノト決定ヲ致シマシマシ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ委員長報告通り採擇スルコトニ決シマス、御報告致シマス、目下特別委員會ニ付託中ニ係ル、豐増龍次郎君外三名提出民事訴訟法中改正法律案ハ提出者ヨリ撤回ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコトニ決シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

○議長(長谷場純孝君) 議長ニ委託セラレタル委員ノ氏名ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、尙明日ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會

午後三時十三分散會